

2008年度理事長 住田 誠が 今年の意気込みを語る!



挑戦

三原を元気にする「まちづくり」へ

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。2008年の年頭にあたり、この一年が皆様方にとって最良の年でありますよう心からお祈り申し上げます。また、旧年中は社団法人三原青年会議所に対し暖かいご支援とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

「モノ」ではなく、「人」によって、このまちを元気にしなければならない!

我が国の景気は、2002年を底として長い停滞をようやく抜け出し、息の長い回復が続いているといわれています。しかしながら、人口減少や地域間不均衡、国・地方の厳しい財政状況など、まだまだ多くの課題も抱えています。このような社会背景も影響しているのか、私達の地域において、まちに元気がないという声が多方面から聞こえてきます。まちを元気にするために必要なものは、整備された交通基盤、商業施設、企業などの「モノ」ではなく、このまちを少しでも良くしてゆこうとする意欲のある「人」だと思えます。その意欲は、まちの課題に対する問題意識を持つことや、その解決方法を考えることのように、関わろうとする

意識から生まれてくるものと考えます。私達は、それぞれの地域がそのような環境になることを目指して様々な仕掛け、事業を実施してゆこうと考えています。哲学者のフランシス・ベーコンは「青年たちは判断するよりも発明すること、評議するよりも実行すること、決まった仕事をするよりも新しい企てに適している」という言葉を残しています。今こそ我々青年会議所メンバーが、大胆な発想で考え、勇気を持って行動し、斬新なまちづくりに挑まなければなりません。私達は挑戦します。三原を元気にする「まちづくり」へ。

「協働のまちづくり」の実現に向けて

2005年に発表した私達のまちづくり構想では、市民、行政及び各種団体などがそれぞれの特徴や機能を活かして、協働でこのまちを作る仕組みが必要であると提唱しています。三原市においても、昨年には協働のまちづくり指針を策定し、私達が考えていた先述の構想は、実現に近づきつつあります。しかしながら、現在市民も行政も、協力して地域の課題を解決する意識が高いとはいえないと思います。このような状況だからこそ、少しでも多くの市民がまちづくりの楽しさを体験できるように、我々がリーダーシップを発揮して、さらに協働の理念によるまちづくりを推進してまいります。

地域の教育力が充実した社会に向けて

私たちの地域は自主防災組織や子ども達の見守り活動など、多様な組織と人が助け合って社会を構成しています。しかしながら家庭や学校を含むその地域の教育環境は決して良い状態であるとはいえないと思います。地域の子どもは地域の宝です。現状よりも地域が学校の運営に関ることができる仕組みの提案など、地域の教育環境を改善する活動を積極的に展開してゆきます。

青年会議所が発展してゆくために

このまちが明るく豊かに発展することを目指して活動する地域の青年が一人でも多くなることは、三原が元気になることに繋がります。つまり、私達の同志を迎え入れる会員拡大は、まちづくり運動そのものであると考え、本年度も積極的に会員を拡大してゆきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、社団法人三原青年会議所第47代理事長として精一杯努力して参る所存ですので、本年も皆様方の暖かいご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。併せて本紙「やっさもっさ」のなお一層のご愛読をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

またかきいたか

◆新年を迎えて必ず食べるものといえば、お雑煮である。お雑煮の歴史は古く、室町時代から「歳神」(正月の神様)へのお供え物である餅や地域の産物を神と共にいただくための、儀礼的な料理だったといわれている。お雑煮はだしの取

り方や具の種類まで地域性が豊かで、まさにその地域の文化そのものが反映されているのではないだろうか◆文部科学省が小中学校で実施している学校給食の主要目的を、従来の「栄養改善」から「食育」に転換する方針が決まった。給食を通じて、食材の生産者や生産過程、流通や食文化などを学び、さらに地元

で使われている食材を給食に活用し、生産者との交流や体験を通じて感謝の念や郷土への愛着を育むらしい◆現在、三原市では「協働のまちづくり指針」策定に向けて議論が重ねられていると聞けが、まだまだ一般市民のまちづくりに対しての意識は低いと感じる。こういった施策に積極的に参加するような、

まちに関心(愛着)を持っている人が増えることによって三原市の将来像も変わってゆくのではないだろうか。そのためにも、子ども達には、「食育」を通じて三原の良さを認識してもらおうと共に、お雑煮のような独自の食文化にも触れてゆくことで三原に愛着のある大人に育ててほしいものだ。

〈ご挨拶〉

第33回
三原やっさ祭り
実行委員長

佐藤 協二



新年あけましておめでとうございます。
 昨年(第32回)三原やっさ祭りが皆様のおかげをもちまして、大きな事故も無く無事終了したことを改めて感謝申し上げます。
 このやっさ祭りも本年度で33回目になり、市民総参加の一大祭典として発展を遂げてきています。しかし三原市合併から3年が経ちますが、未だ旧三原市内以外の参加チームが少なく本当の三原市最大の祭りにはなっていないよう

に感じます。また、私自身が子どもの頃に参加していた、やっさ踊りと比べると小学校、子ども会、町内会の参加チーム数がかなり少なくなっているように感じます。

そこで、第33回三原やっさ祭りでは、元気な三原を目指し、三原市最大の祭りと感じていただく為、各地域(旧1市3町)から踊りチームを出していただき、一体感を实感し、踊り手、観客が共鳴し感動できる祭りを目指したいと思えます。また、10年、20年、いや30年先に三原やっさ祭りが全国、全世界に発展してゆく祭りにする為にも、三原市の伝統あるやっさ踊りを三原市内の子どもたちに伝え、将来のやっさ踊りを担っていく多くの子どもたちが参加しやすい環境づくりに全力を注いでゆきます。

最後になりましたが、第33回三原やっさ祭り実行委員長として、この祭りが元気な三原を目指し、更なる三原のイメージアップと伝統文化のやっさ踊りの継承を図ってゆくと共に、市民・企業・行政で行なう協働のまちづくりの一助となるよう努力してまいります。

皆様の暖かいご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

2月号予告

- ・ 理事長・教育長対談
全小学校が参加するやっさ踊りを目指せ!
- ・ 地域の教育力先進都市を目指してvol.1
新たな教育環境実現への挑戦

※内容は変更になる場合があります。

会員募集

我々は私たちのまち三原が「明るい豊かなまち」となるための時代の変化に即した活動をしており、また異業種交流を通じての新たな出会いの場として生涯の友に出会える場でもあります。あなたも一緒に参加してみませんか? 決して無駄にはさせません! 共に頑張りましょう。

入会資格...年齢20歳~35歳(原則として)性別不問
三原市及び近隣町村に在住、または勤務されている方

★詳しくはお問い合わせください



カレーライス会(市長との懇談会)

昨年12月31日に7名の卒業生を無事送り出すことができました。

(写真奥左から)

生駒 明宣
フォレストセレクト新栄
H14年入会

今井 督和
㈱ワイスコーポレーション
H14年入会

本田 光一郎
㈱本田石材工業
H8年入会

平野 裕輔
㈱お茶の平野園
H9年入会



(写真手前左から)

松尾 清治
㈱山陽高速印刷
H14年入会

渡辺 敏
㈱渡辺商会
H9年入会

田尾 敏範
共立電機産業(株)
H5年入会

2008年度(社)三原青年会議所組織構成



理事長 住田 誠
直前理事長 渡辺 敏
副理事長 兼綱 猛晴
亀田 尚史
木田 多泰
原 邦高
専務理事 小林 正典



組織力向上委員会
委員長 森川 朋和
副委員長 倉橋 英治
委員 勝原 清志
古本 幸久
松葉 弘
盛影 誠司



地域の教育力向上委員会
委員長 花田 章浩
副委員長 蛭原 美子
委員 井上 尚彦
菊川 美仁
講崎 健一
作田 佳史
藤井 健司
夜船 孝拓



元気な三原推進委員会
委員長 矢崎 昌樹
副委員長 阪井健太郎
委員 川村 竹治
坂井 隆伸
桜井 靖光
田阪 聡
檜山 泰三
藤井 俊孝



広報委員会
委員長 三好 慎一
副委員長 荻路 新吾
委員 佐藤 協二
富田 伸博
村上 睦宏
守岡 輝幸

折込紙及び紙面サイズ変更のお知らせ

本年度より充実した内容で「やっさもっさ」の発行を行ってゆくため紙面サイズ・配布方法を変更いたします。これからも皆様に愛される「やっさもっさ」を発行してゆきたいと考えておりますので、何とぞ御了承お願いいたします。

折込紙
中国新聞・読売新聞
紙面サイズ
タブロイド版4面

(社)三原青年会議所 ホームページ リニューアルのお知らせ

(社)三原青年会議所の活動やまちづくりに関する情報をより分かりやすく発信するためにホームページをリニューアルしました。それに伴いホームページの更新をお知らせするメールマガジンの発行も行っております。

ホームページから登録できますので、皆様のご登録をお待ちしています。詳しくはホームページをご覧ください。

HP: <http://www.mihara-jc.com>

やっさもっさ 伝言板

ちょっと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中!!
「元気な三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください

モニター募集

(社)三原青年会議所では「やっさもっさ」に対するご意見を頂けるモニターを募集しています。よりよい紙面をつくるために皆様のお声を聞かせください。
★紙面へのご意見、感想募集
モニター方法 簡単なアンケート
モニター期間 2008年1月号~11月号(毎月1回)
★詳しくはお問い合わせください

やっさもっさTV

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	1/15日	16日	17日	18日	19日	20日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP <http://mihara-jc.com>



← 携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

三原青年会議所

検索

発行元 (社)三原青年会議所

編集 広報委員会

子どもたちの「自尊心」「思いやり」「郷土愛」を育める学校 子どもたちを地域の財産に・・・ 地域の学校を地域の財産に・・・

08' 三原JC 教育レポート

それが地域で作る、地域の学校 (コミュニティ・スクール)

これからの学校のありかたを提案!

◆いじめや不登校、学力低下、子どもを狙った犯罪など子どもたちを取り巻く様々な問題が報道される中「地域の防犯パトロール」や「おやじの会」などの活動で、地域の大人が子どもたちと関わる機会は増えてきたように感じます。しかしまだ多くの方が理解していても**行動に移せない**、または移していないというのが現状ではないでしょうか。

◆では、地域の大人が積極的に学校教育へ関わることができ、同時にその声が反映される

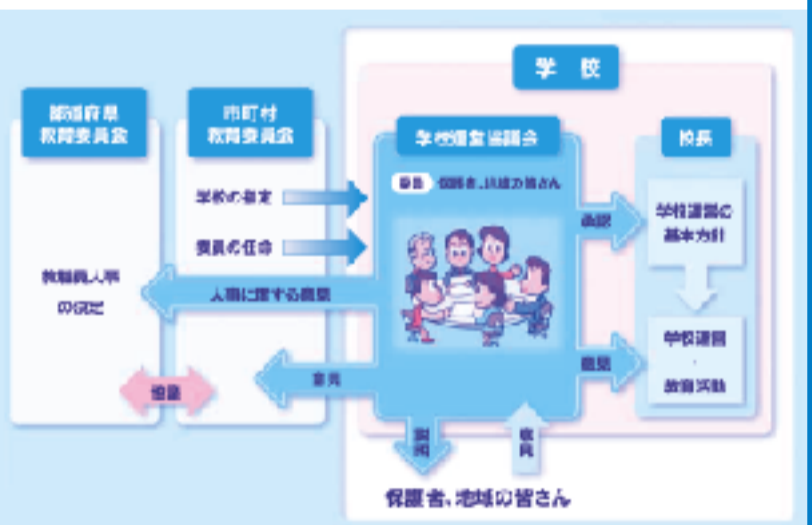
状況をつくるにはどうすればよいのでしょうか。その答えのひとつが「**コミュニティ・スクール**」と呼ばれる地域主体で運営する公設民営の学校です。この制度が実施されると、子どもたちに関わる様々な問題を、PTAだけではなく地域の大人たちもより積極的に参加して解決してゆくことが可能となります。また、このシステムを発展させると校長先生をはじめとした先生たちの人事権に意見することも可能となります。

生まれ、郷土芸能などの伝統行事を後世に引き継いでゆくことへと繋がり、郷土愛へと繋がっていくものと考えます。

◆**想像してみてください**、地域の大人が子どもたちの安全を考え郷土芸能を通してふれあい、子どもたちと真剣に向き合い育む環境で、子どもたちがどのような大人になってゆくか。この無限の可能性を秘めた地域主体の教育環境＝「コミュニティ・スクール」を実現させるため、地域の教育力向上委員会は**今後様々な提言**をしてゆこうと考えています。

すべては子どもたちの明るい未来のために・・・。

コミュニティスクールの説明図



教育委員会から指定を受けた学校に地域住民やPTAの代表による「学校運営協議会」を設け、そこで得られた意見を参考にして学校の運営方針を決定することができる。

◆しかし、学校に対して意見や承認を行うだけではより良い学校作りとはなりません。同時に学校の**運営に責任を負う**ことになるのです。責任の無い権利では何も生まれませんからです。

◆**地域が主体となって取り組む教育とは、すべてを学校任せにするのではなく、家庭で行うべき教育(しつけ)は家庭でしっかりと行いつつ、保護者と地域の人たちと先生たちが協力して子どもたちを教育もう**ということです。こうした活動の中で地域の大人と子どもたちのふれあいが



地域の教育力向上委員会
花田委員長

【委員長のコメント】
地域へるみで子どもたちを育みましょう。
『子は宝
じっくりに仕込め
二十年』

◆この記事に関するご意見やご感想、あるいは「コミュニティスクール」についてのご質問などは(社)三原青年会議所 地域の教育力向上委員会 委員長の花田までお気軽にご連絡下さい。

みたかきいたか

私が通っていた小学校には、ある銅像があった。薪を背負い、本を読む姿の二宮金次郎である。次から次へと明るみになる企業の偽装事件。官僚の腐敗堕落。とても勤労の精神などは感じられない。私達日本人は、思いやりがあり、誠実な、

世界に誇れる民族ではなかったのか。一体この国はどうなってしまうであろう。自らの利益ではなく公共性を尊重するという道徳観が欠如しているようだ。今の世の中を覗いてみると、教育の影響というものを強く感じる。◆そんななか、先月後半の中国新聞の記事に一光の兆しを見た。その内容は、興譲館高校野球部(岡

山)の野球ではなく「人間力」を軸とした指導内容である。それは、野球を離れてからの人生も考慮して、日常の礼儀と規律を徹底して指導するというもので、グラウンド外でも清掃活動や地元の祭り運営の手伝いなど、地域とのつながりを深める活動も行っている。試合には、あまり野球を知らない地域の方が応援に

行くことがあるという。監督10年目、野球の結果も結びつき、初の甲子園切符をつかんだ。◆この記事も、私達が目指している「学校と地域が一体となって子どもを育む」という姿を重ね合わせて読んだ。このような光景を三原で見ることが出来る日はそう遠くないはずだ。

第33回
三原やっさ祭り

キャンペーン大難

過去3年間のキャンペーンテーマ

- 第30回 響きあう 新たな鼓動 夢やっさ
- 第31回 好きなんよ うちのやっさ うちの三原
- 第32回 みたか きいたか♪ 浮城物語2007

『第33回三原やっさ祭り』を盛り上げるため、キャンペーンテーマ(キャッチフレーズ)を公募いたします。
8月8・9・10日の3日間開催予定の三原やっさ祭りは、メインとなるやっさ踊りを中心に、花火大会やステージイベント等、たくさんのイベントを企画中で、気軽に参加できる楽しいお祭りになりたいと考えております。
三原市最大の夏祭り「三原やっさ祭り」にふさわしく、また、一人でも多くの方々に参加していただけるような、明るく楽しい、そして親しみやすいキャンペーンテーマを広く募集します。

◆応募方法

ハガキ、封書、FAX、Eメールまたは、持参。ホームページからも応募できます。詳しくは右記まで。

◆募集締切

平成20年3月7日(金) 必着

◆表彰

優秀賞…1点(賞金3万円とやっさオリジナルグッズ)
佳作…2点(やっさオリジナルグッズ)

◆応募先

〒723-8555 三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所内
三原やっさ祭り実行委員会 森山まで
TEL 0848-62-6155
FAX 0848-62-5900
メールアドレス:yassa@mhr-cci.or.jp
ホームページ:http://www.yassa.net/

3月号予告

●地域の教育力先進都市を目指して Vol.2

校長・中心となっている先生・学校運営理事会副理事長対談
コミュニティスクールを実施するまで・実施してから、のそれぞれの立場で感じる事

●地域と行政の協働

各地域からまちづくりを考える
地域と行政のパイプ役として、校区ごとに行政職員を配置すればどのようになってゆくか先進地の事例紹介

(社)三原青年会議所 3月公開例会

三原が元気になる、我々市民が元気にしてゆく、地域と行政の協働
～各地域からまちづくりを考える～

参加申込受付中

※詳しくは3面をご覧ください。

会員募集

～集え若き青年経済人よ～

(社)三原青年会議所はまちづくりに少しでも繋がるよう日々明るく、楽しく、そして時に厳しく活動しています。

我々は現状に決して満足せず更に成長し、まちづくり活動に**挑戦**してゆきます。そのためには今以上に素晴らしい多くのメンバーと活動してゆかなくてはなりません。我々の活動に少しでも興味を持ち、まちづくりなら私も何かやってみたくらいと思ったあなた、是非我々と共に活動してみませんか。あなた次第で成長でき、青年経済人として社会に出てからなかなか得ることのできない真の友人をつくることもできます。

是非ご連絡下さい。



三原TEPPAN倶楽部



今村克彦講演会

詳しくはお問い合わせください

入会
資格

- 年齢20歳～35歳(原則として)
- 性別不問
- 三原市及び近隣に在住、または勤務されている方

担当

【組織力向上委員会】
委員長 森川朋和
副委員長 倉橋英治

～OB現役新年懇親会～

開催



組織力向上委員会(森川朋和委員長)は、去る1月22日(火)三原国際ホテルにおいて、2008年度(社)三原青年会議所OB現役新年懇親会を開催しました。当日は約100名が出席し三原市長をはじめ、大勢の来賓の皆様へ暖かいご祝辞を頂き、盛大な会となりました。懇親会を通じて、第33回三原やっさ祭り実行委員会メンバーの紹介や、新入会員の紹介があり、OB会員の皆様と親睦を深め、また、さまざまなアドバイスをいただき、今年一年間精一杯頑張るための大変素晴らしいスタートとなる新年会となりました。

(社)三原青年会議所 ホームページ リニューアルのお知らせ

(社)三原青年会議所の活動やまちづくりに関する情報をより分かりやすく発信するためにホームページをリニューアルしました
それに伴いホームページの更新をお知らせするメールマガジンの発信も行ってゆきます

ホームページから登録できますので、皆様のご登録をお待ちしています
詳しくはホームページをご覧ください

HP: <http://www.mihara-jc.com>

やっさもっさ 伝言板

ちょっと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中!!
「元気の三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください

モニター募集

(社)三原青年会議所では「やっさもっさ」に対するご意見をいただけるモニターを募集しています
よりよい紙面をつくるために皆様の声をお聞かせください
★紙面へのご意見、感想募集
毎月1回簡単なアンケートにご協力お願いします
★詳しくはお問い合わせください

やっさもっさTV

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	2/26日	27日	28日	29日	3/1日	2日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP <http://mihara-jc.com>



←
携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所

検索

発行元 (社)三原青年会議所

編集 広報委員会

市内全校で
取り組んでいる『地域でつくる地域の学校』の先進地
(コミュニティ・スクール)

島根県出雲市にこれからの教育のありかたを学べ!!

島根県出雲市では、市内全49小中学校で保護者や地域の大人が中心となり「学校の応援団」として、学校運営協議会を設置し、あいさつ運動や子どもたちの生活習慣を整える取組み、また、地域の大人が授業のお手伝いをするという取組みを実践されておられます。そのなかでも、特に活発に取り組まれておられる「大社小学校」に伺い、実状についてインタビューをしてきました。

出雲市立大社小学校
校長 松本 俊憲出雲市立大社小学校
教諭 大國 浩志出雲市立大社小学校
PTA会長兼地域学校運営理事会
副理事長 岩石 秀一

コミュニティ・スクールとは…

文部科学省が推進する制度であり、法律に基づき、現在の公立学校において、保護者、地域の代表者、学校関係者によって構成される「学校運営協議会」を設置します。その「学校運営協議会」には、学校の運営方針や人事権について意見を述べる事ができる一定の権限が与えられています。

出雲市の経緯・・・

出雲市では、平成17年3月の合併を期に出雲市中央教育審議会を発足させました。そこへ市長から「21世紀出雲の小・中学校の運営について」の諮問(しもん)が出されました。その後「21世紀出雲のグランドデザイン」を策定し、第一次答申が出された後、新しい学校運営システムとして、家庭・学校・地域が一体となって運営にあたる「地域学校運営理事会」制度を導入する必要があるということになりました。翌年には「出雲市立学校における地域学校運営理事会の設置等に関する規則」が施行され、出雲市教育委員会で「地域学校運営理事会を設置する学校」として21小中学校を指定しました。それから徐々に指定校を増やしてゆき、平成19年の1月22日には、**市内の全49小中学校に学校運営理事会が設置されることとなりました。**

地域の意識は以前から高かった！

花田委員長

コミュニティ・スクール実施以前はどのような状況でしたか？

松本校長

この地域ではそれまでも学校に対して、町内・自治会からお金を集めそれを管理する教育後援会という組織があり、その活動を通じて地域との繋がりはありました。クラブ活動にも、地域の大人がゲストティーチャーとして子どもたちの指導にあたるという形で学校に関わっていただけており、ゼロからのスタートではありませんでした。

大國先生

地方でも核家族化が進む流れのなか、このまちは他の地域に比べて、人と人との関わりは以前から強かった様に思います。

岩石会長

そんな背景から、以前から諸問題に対してそれなりに対応はできていたと思いますが、コ

ミュニティ・スクールを実施することで、家庭・学校・地域が一つのテーブルで課題に取り組めるシステムが確立されたように思います。市から与えられた形ではありましたが、それをどう利用するかは我々次第だと思います。

トップダウンをチャンスに変えた！

花田委員長

実施が決まった時はどう思われましたか？また、実施はすんなり受け入れることができましたか？

松本校長

当初はコミュニティ・スクールという大きい枠組みではなく「学校の応援団」として地域学校運営理事会を設置しました。今までは、教育を個別の切り口で見てセクション毎で捉えていましたが、今は幼小中一貫校や、そして大人になってからは教える側として、生まれてから亡くなるまで、一生を通して、地域として関わってゆくことが、コミュニティ・スクールだと考えています。

2面に続く

みたかきいたか

昨年の3月25日は石川県輪島市西南西沖40kmの日本海で発生したマグニチュード6.9の能登半島地震があった。防災科学技術研究所などによるとこの地震の地震波に長周期パルス波が含まれていることが分かった。これは周波数1秒以下の早い振動によって建物に亀裂が

入り、その後周波数1～2秒の遅い振動によって建物が大きく揺れて大きな被害をもたらすと考えられている。阪神・淡路大震災においても被害をもたらした。このため全壊家屋は684棟(2001年3月24日発生した芸予地震では70棟)と多く、その外にも様々な被害を確認されている。

◆京都府長岡京市で「災害に負けない福祉のまちづくり」が各地で災害時の要

援者対策を進めている「コラボねっと」代表の石井布紀子さんを講師に招いて開催された。講義の中で石井さんは昨年の能登半島地震の被災地で、地域で小単位の組織活動が普段から行われていたため、住民の安否確認が素早くできたこと紹介した。◆1月31日に市民と行政が協働でまちづくりを進めるための方向性を示す「三原市市民協働のまちづくり指

針」の案が五藤市長に提言された。市はそれに基づき「市民協働推進委員会(仮)」を設置し「市民協働のまちづくり推進計画」を策定し協働のまちづくりを進めてゆく。協働のまちづくりを考える時、人の命を第一に考え、緊急時に確実に機能するものであって欲しいと願う。

2008三原ミスやっせ 大募集

中国地方最大の夏祭りである「三原やっせ祭り」は、今年で33回目を迎えます。
この三原やっせ祭りを通して、私たちのまち「三原」を全国にアピールしてみませんか？きっと忘れることの出来ない素晴らしい思い出があなたを待っています。

- 応募資格**…三原市内及び三原市近郊居住者または勤務者 満18歳以上の方（高校生不可）
観光アシスタントとして三原を全国にPRして頂ける方
- 受付期間**…平成20年3月24日(月)～5月2日(金)まで
- 賞品**…くミスやっせ3名>
・ハワイ旅行6日間 その他賞品
・夏、冬制服を支給します
※それぞれの推薦者には推薦者賞をプレゼント
- 申込方法**…所定の申込用紙に必要事項を記入しお申し込みください

●**申込・問合せ先**
〒723-8555 三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所内
三原やっせ祭り実行委員会 担当：森山
TEL 0848-62-6155
FAX 0848-62-5900
ホームページ：<http://www.yassa.net/>

4月号予告

- 地域と行政の協働**
地域と行政の協働のまちづくり
先進地島根県邑南町で取り組まれているまちづくりの事例について
- 地域の教育力先進都市を目指してvol.3**
三原市の各学校長に対してのアンケート結果

会員募集

～集え若き青年経済人よ～

(社)三原青年会議所はまちづくりに少しでも繋がるよう日々明るく、楽しく、そして時に厳しく活動しています。

我々は現状に決して満足せず更に成長し、まちづくり活動に**挑戦**してゆきます。そのためには今以上にすばらしい多くのメンバーと活動してゆかなくてはなりません。我々の活動に少しでも興味を持ち、まちづくりなら私も何かやってみたくと思ったあなた、是非我々と共に活動してみませんか。あなた次第で成長でき、青年経済人として社会に出てからなかなか得ることのできない真の友人をつくることもできます。
是非ご連絡下さい。



今村克彦講演会

詳しくはお問い合わせください

入会
資格

- 年齢20歳～35歳（原則として）
- 性別不問
- 三原市及び近隣に在住、または勤務されている方

担当

【組織力向上委員会】
委員長 森川 朋和
副委員長 倉橋 英治

2月例会開催



地域の教育力向上委員会（花田章浩委員長）は、去る2月19日（火）三原国際ホテルにおいて「地域の教育力先進都市を目指して 子どもたちの明るい未来のために」と題し2月例会を開催しました。例会では、三原の宝である三原の子どもたちの明るい未来のために、地域の教育力の向上させるためにはコミュニティ・スクールという手法が最良だと考え、コミュニティ・スクールの先進地事例や、注目すべき過去の（社）三原青年会議所の事業や本年度の取り組みについて説明があり、メンバーが地域主体の教育について理解し、意識を高めることができた非常に有意義な例会となりました。

ちよつと一言

最近未成年の喫煙率が上がっているらしい。このところタバコの自動販売機に「広島県では2008年5月から成人認証が始まる」というステッカーが張ってあることをよく目にする。日本たばこ協会の取り組みとして、自動販売機で未成年にタバコを買わせないために、手数料無料で

発行される専用のICカードの申し込みが必要になるというらしい。私はタバコを吸わないがたばこを吸う大人たちはこのようなシステムの導入に少なからずわずらわしさを感じている人もいるのではないだろうか。本来ならば、このようなシステムがなくても周りの大人たちが子どもたちにたばこを吸わせないようにしなければいけないと思う。未成年の喫煙は今に始まったことではないと思うが、現実に未成年の喫煙率が上

がっていて、未成年へのたばこの健康被害が叫ばれている昨今、このようなシステムを導入して未成年がたばこを買えない環境をつくってゆくことも必要になってきているのかもしれない。この取り組みが未成年の喫煙防止につながることを願っている。



三原市宮沖 男性

(社)三原青年会議所
ホームページ
リニューアルのお知らせ

(社)三原青年会議所の活動やまちづくりに関する情報をより分かりやすく発信するためにホームページをリニューアルしました
それに伴いホームページの更新をお知らせするメールマガジンの発信も行ってゆきます

ホームページから登録できますので、皆様のご登録をお待ちしています
詳しくはホームページをご覧ください

HP：<http://www.mihara-jc.com>

やっせもっさ 伝言板

ちよつと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中!!
「元気な三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください

モニター募集

(社)三原青年会議所では「やっせもっさ」に対するご意見をいただけるモニターを募集しています
よりよい紙面をつくるために皆様の声をお聞かせください
★紙面へのご意見、感想募集
毎月1回簡単なアンケートにご協力をお願いします
★詳しくはお問い合わせください

やっせもっさちゃんねる

今月号の放送予定日（三原テレビ放送）

	3/25日	26日	27日	28日	29日	30日
8:00		○	○	○	○	
9:30						
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL：(0848) 63-3515 / FAX：62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP <http://mihara-jc.com>



←
携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所

検索

発行元 (社)三原青年会議所

編集 広報委員会

あなたの声を実現するまちづくり!!

三原を元気にしてゆくために!

地域と行政の協働! 小学校区単位でのまちづくりを目指して!

近年の経緯

(社)三原青年会議所は2000年から協働のまちづくりを推進してまいりました。その中で、住民主導で行う合併に対する運動・市民の意見を取り入れた公共施設の計画・市民からの投稿による三原のいいところ再発見事業「あそびMAP」作成・三原の食をテーマに市民と共同で立ち上げた「みはらTEPPAN倶楽部」など、市民・企業・行政が協働してそれぞれの目的を達成する活動に力を入れてまいりました。本年度は、このような運動方針を受け継ぎ、なおかつ、各地域に着目し、地域と行政が協働することで、三原市全体が元気になってゆく活動を行っています。



委員会風景

地域と行政が積極的に協働を行うために

近年、三原市以外の多くの地域でも「協働」という言葉が広がり、その形を模索している状況のなか、本年度私たちは、三原市全体を元気にしてゆくために、公民館がコーディネートするまちづくり活動を提案します。現在三原市の公民館・コミュニティセンターでは、生涯学習指導員(非常勤職員)を配置し、生け花教室・書道教室などの文化の学習から、卓球などのスポーツ教室といったような生涯学習に力を入れています。私たちは現在の三原市の生涯学習活動を引継ながら非常勤職員ではなく行政職員に常駐していただき、さらに小学校区内ごとの、まちづくりの活動を入れていただくことを考えています。

なぜ小学校区なのか?

区分けが小さいほど身近な問題、意見に気づき対応出来ます。しかし、町内会単位だとあまりに小さ過ぎて人件費や活動拠点に費用がかかり過ぎるなどの理由で現実的な提案になりません。逆に中学校区ほど大きくなると、きめ細やかな対応が出来なくなってしまうという問題や、顔みしりの関係が築きにくいということから、小学校区単位が最適だと考えます。

なぜ非常勤職員ではなく、行政職員なのか?常駐が必要なのか?

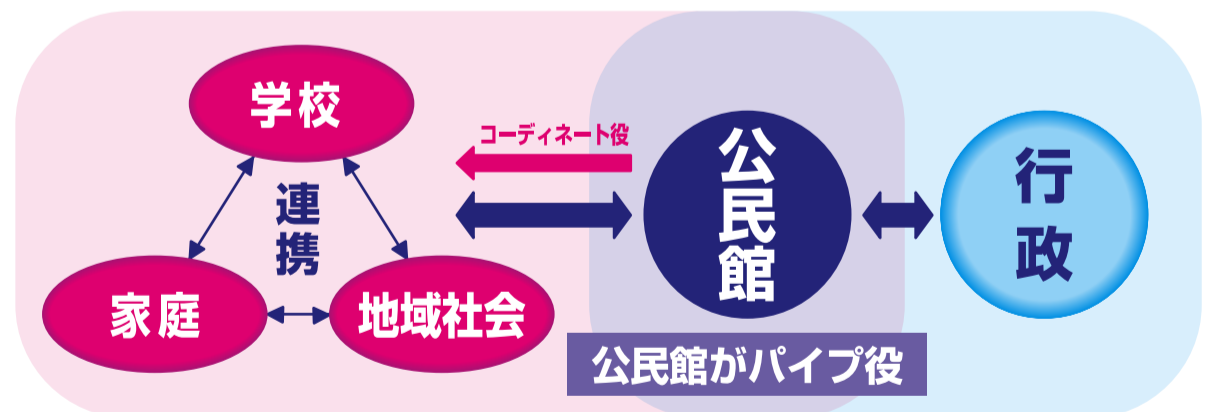
行政と地域が協働するために日本全国で様々な仕組みが出来ています。例えば、地域の中から非常勤職員を出し常駐していただく。また、行政職員が通常業務終了後自分の出身地域、又は近くの地域に分けられて、まちづくり活動を行う地域担当制という形です。しかしこの形では、職員は積極的にまちづくり活動を行う事ができません。なぜならばまちづくりのプロである行政職員は、様々な問題に対応出来る知識をもっています。また、各地域の問題に対する行政担当課と繋がりがあり、スムーズな連絡・連携・対応を取ることが出来ます。そして、行政職員は、各地域に対して様々な活動を行ったり、意見をまとめるコーディネーターになることができます。行政職員が各地域に常駐することで、

地域の身近な問題の相談場所が明確になり、行政職員は、積極的に現場に出向き、問題を肌で感じる事が出来ます。つまり行政職員が地域に常駐することで、その能力を活かしこのような形が出来れば、地域で出来ることは地域で、そうで無い問題は行政と一緒に解決してゆく流れができます。

公民館単位で効果的なまちづくりが行われている「邑南町(おおなん)」

私たちは、地域と行政の繋がりをより深く結びつけることが協働のまちづくり活動には重要であると考え、同様の考え方で活動が行われている地域を探した結果、島根県邑智郡邑南町の公民館での活動に着目しました。通常の行政システムでは、それぞれの課が独立し、タテの関係で業務が流れていることが多いと感じます。しかし邑南町の場合は、生涯学習課の中に地域振興課の一部が組み込まれており、しっかりとヨコのつながりもできています。これにより、公民館に行政職員を常駐させることが、行政と住民の連携に有効に働き、公民館を媒介として地域の生涯学習はもちろんのこと、地域性を活かしたまちづくり活動が行われています。また、顔・人柄をよく知っている職員が地域に常駐していれば、安心感を持って相談に行けますし、行政も町民も互いに意見の言い投げになることが少なくなります。

邑南町での公民館の役割



みたかきいたか

私が画家になると言い出したとき、両親は大反対をした。「やりたいことは最後までやり続ける」という教育方針の父でさえ「どうやって食っていくんだ」と猛反対した。当然だ。芸術家の道は甘くはない。苦労するのは目に見えている。親なら誰でも反対する。そんな父を私は説得した。数学

者で誰よりも論理的だった父を。このハードルを越えなければ芸術家にはなれない。◆芸術とはイメージーションのコミュニケーションだ。自分の思いを誰かに伝える事。意見の違う相手に、自分の考えをわかってもらうこと。それこそが芸術の本質である。時には人種や国籍、時代をも超えて。だとすれば、父親くらい説得できなければ話にならない。肉親さえも説得できず、赤

の他人に思いを伝える事などできるはずもない。そう思って私は懸命に父を説得した。でも結局上手くいかなかった。あとはもう少し結果を示すしかなかった。そして、ここからは自分の問題だと覚悟を決めた。このとき私は自立したのだと思う。父親の人生ではない。自分自身の人生なのだ。それを本当の意味で悟り、覚悟を固めたとき私は私自身の人生を歩みはじめたのだ。父

が反対してくれたからこそだった。◆最近、親離れしない子どもと子離れしない親が増えている。人生の最初の一歩をお膳立てしてしまう親もいる。それではいつまでたっても親の助力に頼る甘えた大人になるだろう。安易なスターをきらせるよりもむしろ最初のハードルになってやることこそが親の責任ではないか。ライオンが我が子を谷底に突き落とすように。

鳥根県邑智郡邑南町の公民館活動例

- 地域住民が、公民館で行われている勉強会により、地域の財産を自ら守る意識が芽生えた
- 各地域の公民館から常駐職員(館長)を引き上げるといった話が出た時、地域住民が自ら町民全員の署名を集め、その必要性を訴えた
- 各地域で住民が案を出し合い、全員が同意した企画に対して、かかる予算を地域住民と町が接半して開催する「夢づくりプラン」の実施
- 地域住民の身近な問題が起きた時、公民館職員に相談を行い行政の力が必要な時は、パイプ役となり、地域で解決できる時はそのアドバイスを行う

以上の4つ全ての例に共通することは、行政職員は地域に様々な仕掛けを行い、各地域がしっかりと連携がとれており住民が自分たちの地域に対し積極的に考え行動していることです。このような形が出来るのも、公民館に行政職員を常駐しているからです。

三原市の現状

現在三原市で身近な問題が起こった場合どのような流れでしょうか。各地域で身近な問題が発生した時、相談・要望の流れとして大きく分けて次の4つの行動が考えられます。

1. 個人で三原市に相談
2. 町内会に問題を上げ、町内会から、又は、連合組織から三原市へ相談
3. 地域、また近くの地区の市議会議員に相談
4. PTAなどの団体から三原市へ相談

このような流れだと、相談・要望する場合どこに行けばいいか場所が分かりにくく、また市職員が各地域の相談・要望内容に気づきにくく、顔が見えない分、お互いに言い投げになりやすいなどの問題がありました。

三原を元気にしてゆくために!

邑南町と三原市の流れを踏まえて、三原を元気にし、より良い三原市を推進するためには、一人ひとりがまちづくりに対し積極的に参加することが大切で、自分たちの地域の身近な問題を、自分たちの力で解決し、かつ、まちづくりの楽しさを感じて頂く。この二つを実現するためには、相談の場所・人を明確にし、身近に感じてもらうことが大切です。その方法の一つとして、

行政職員が地域に入り込み、様々な仕掛け役、相談役となることで身近な問題の解決や、ひとつりができると思います。皆さん、想像してみてください。もし、毎日、身近な場所で市政懇談会が行われていたら。もし、各地域に派出所がある様にまちづくりの相談場所として公民館があれば、各地域はより良い地域になり町になり市になるのではないのでしょうか。

あなたの声を実現するまちづくりを行うために

これから三原を元気にするためには、行政と市民が協働で考え、行動しやすい三原に合ったシステムの構築が必要だと考えます。そのシステムを運営することによって、地域でできることは地域で行い、できないことは行政が支援することができます。そして人に対する思いやり、まちを愛する心が芽生え、一つひとつの小さな力が結集すれば、三原市全体が元気なまちに変わってゆくと考えられます。今後(社)三原青年会議所としては、このシステムの構築のために、全力で頑張ってゆきます。



“地域の教育力先進都市”を目指して VOL.3

今後「学校」と「地域」は深く関わってゆくことが必要!

三原の校長先生にアンケート!!

～コミュニティ・スクールに対する意識～

本年度地域の教育力向上委員会では、三原市においてコミュニティ・スクール制度を活用し、各小中学校に「学校運営協議会」が設置されるよう取り組んでおります。

今回は、すでにコミュニティ・スクール制度を活用し市内全公立小中学校に学校運営協議会と同等の組織である「地域学校運営理事会」を設置されている「鳥根県出雲市」の取り組みについて取材しました。そこで今回は三原市の現状を知るために、平成20年3月3日から3月21日の期間で三原市内の全公立小学校30校の校長先生にアンケートを行いました。



コミュニティ・スクールとは…

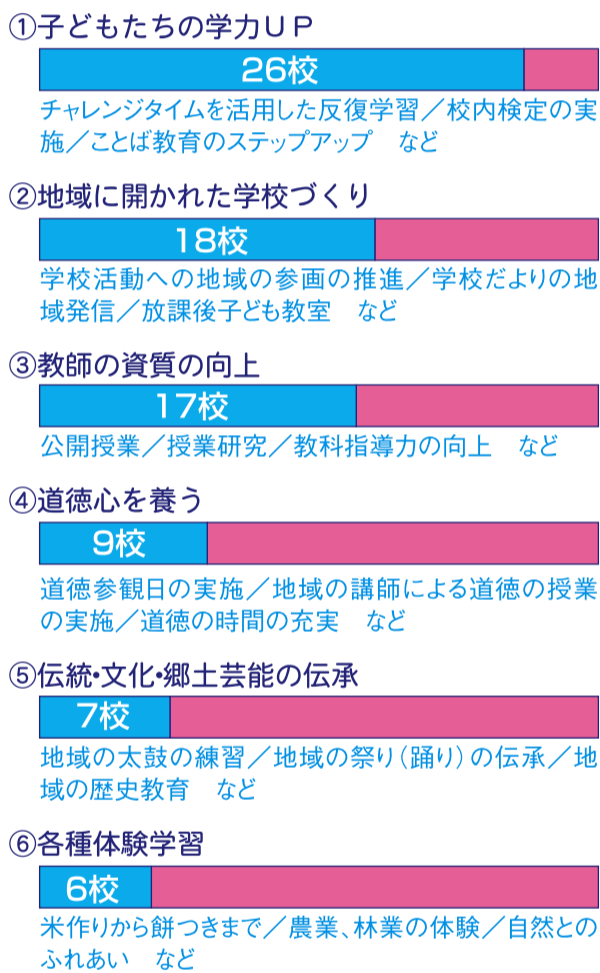
保護者や、地域の皆さんの声を学校運営に直接反映させ、保護者・地域・学校・教育委員会が、一体となってより良い学校を作り上げてゆくことを目指すものです。

学校運営協議会とは…

コミュニティ・スクール制度を活用するにあたり、各小中学校において保護者・地域の代表者また学校関係者によって構成された組織で、学校の運営方針に対して意見を述べたり、学校に起こった問題・課題に対して話し合いを行ないます。

地域の教育力の重要性!

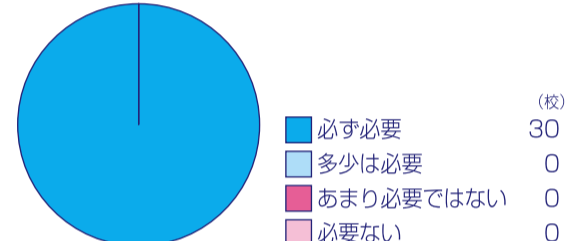
Q. 現在学校では特にどのようなことに力を入れていますか? (全30校)



3項目選択式で上位のアンケートを集計しました。①③が上位にきたことは、学校として当然のことかと思いますが、意外なことは②にとても力を入れておられることが分かりました。また、⑤⑥の実現には、地域の力が非常に重要になってくるのではないのでしょうか。

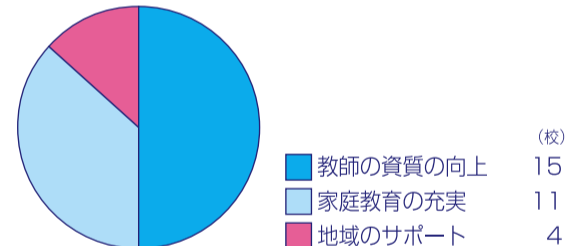
地域の教育力の充実にはコミュニティ・スクールが有効!

Q. 地域の教育力は必要だと思われますか?



30校の校長先生全員が地域の教育力は「必ず必要」と回答されました。前問からも地域の教育力の必要性が感じられました。それを今後より充実させてゆくためには、「コミュニティ・スクールという手法が有効なのです。」

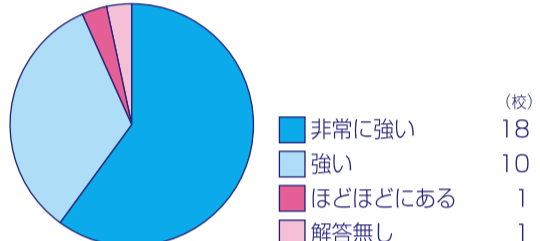
Q. 今後子どもたちのためには、教育現場に何が必要だと思われますか?



約1/3の校長先生は、家庭教育の充実が重要と答えられました。コミュニティ・スクール制度の活用によって、子どもたちが抱えている悩みや問題をいち早く知り対応することができます。また、学校教育と家庭教育の役割が明確になり、同時に責任を負うことで家庭教育の充実が計れると考えます。またコミュニティ・スクールの人事に関する制度を活用すれば、教師の資質の向上にも繋げることができます。

地域のサポート体制の効率化が必要!

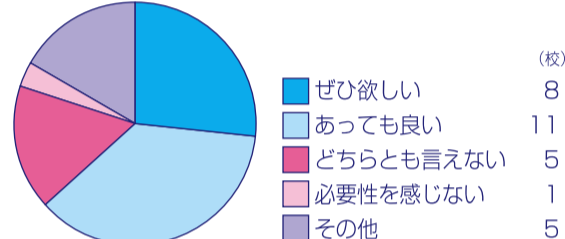
Q. 「学校」と「地域」の関わりはどの程度ありますか?



ほとんどの学校が「非常に強い」「強い」という回答でした。その背景には、学校が「地域に開かれた学校づくり」の取り組みを積極的に行っているからだと思います。また地域の方も学校をサポートしている現状も分かりました。しかしその形は学校により様々です。

だからこそ今コミュニティ・スクールを!

Q. 学校の応援団として「学校運営協議会」を設置するべきですか?



半数以上の校長先生が学校運営協議会に対して、前向きな回答を頂きました。しかし今後の課題としてその他の意見として頂いた数ある他の組織とのコミュニティ・スクールの違いを明確にし、コミュニティ・スクール制度の有効性についてさらに発信してゆかなければならないと感じました。

アンケートまとめ

アンケートの結果から感じ取ったこととして、すべての学校で地域の教育力が必要だと感じました。現状として、各学校が力を入れている部分の違いや、学校をサポートする組織の違い、また、それにより保護者や地域の方の学校への関わり方に温度差があることに気がつきました。その差を埋めるためにコミュニティ・スクール制度を導入することが必要だと考えます。今後(社)三原青年会議所は、地域性を生かせるコミュニティ・スクール制度の提案と同時に、学校運営協議会の導入を目指してゆきます。

～すべては子どもたちの明るい未来のために～

ご協力頂きました校長先生の皆様、心より御礼申し上げます。

本紙やウェブサイトでは、ここに掲載の企業のご協力と(社)三原青年会議所の自主財源で発行しています。

月見幼稚園	益谷建設	イグルー	クラーク矯正歯科
ついで園	松尾社野士事務所	アイール土居写真	クリエティブ・ライブ
ついで園	松尾社野士事務所	アイール土居写真	クリエティブ・ライブ
ついで園	松尾社野士事務所	アイール土居写真	クリエティブ・ライブ

地域の教育力が向上する「学校運営協議会」とは！

(社)三原青年会議所では、地域の教育力向上委員会による5月例会を、一般の皆様へ公開し、皆様とともに勉強したいと思います。内容としては三原市を“地域の教育力先進都市”の一つにするために、既にコミュニティ・スクール制度を活用し、学校運

営協議会を設置されている出雲市よりパネリストを招いて、学校運営協議会における取り組み、役割など実状についての話を伺います。参加を希望される方は、(社)三原青年会議所事務局まで、電話またはFAXにて申し込みください。



日時：2008年5月19日(月) 19:20~20:40 ※受付19:00~

場所：三原国際ホテル 6F エターナリー

パネリスト：出雲市教育委員会 武田 寿博氏・大社小学校 校長 松本俊憲氏・同PTA 会長 岩石 秀一氏
(パネリストは予定です。都合により変更になる場合があります)

テーマ：「地域の教育力先進都市を目指して～出雲に学ぶ!!家庭・学校・地域が連携して子どもたちを育むシステムの確立～」

参加費：無料

定員：先着60名 ※定員になり次第締め切らせていただきます

締切：2008年5月9日(金)

問合せ先：(社)三原青年会議所事務局(伝言板参照)

担当：地域の教育力向上委員会 委員長 花田章浩・副委員長 蛭原美子

3月例会開催

元気な三原推進委員会(矢崎昌樹委員長)は、去る3月19日(水)三原国際ホテルにおいて島根県邑南町教育委員会矢上公民館主事 大橋 寛 氏を講師としてお招きし「まちづくりはひとづくり、ひとが変わればまちが変わる「小学校区に市職員を配置」～先進地(島根県邑南町)に学ぶ～」と題し3月例会を開催しました。この例会は公開例会として開催し、市議会議員をはじめ三原市行政職員や各地域の連合町内会長、代表総代、地域振興会長、町内会長、など多くの方々が参加された中、

行政職員を学校区毎に配されている邑南町のまちづくりの事例を講演いただきました。参加者からは、市民と行政の一体感が良いと感じたなど、内容を多くの皆様に共感していただきました。(社)三原青年会議所メンバーだけでなく例会に参加された多くの人のこれからのまちづくり活動の参考になる非常に有意義な例会となりました。

※邑南町の取り組みは1面・2面をご覧ください。

3月例会アンケートで頂いたご意見

例会内容について

- 行政と市民の一体感が良いと感じた
- 公民館活動が積極的に行われている
- 三原市内でも、邑南町と同じ様な活動は行われている地域はある
- 公民館の必要性和活動の形
- 先進地とは思えない

今後の三原市について

- 行政と市民の情報交換窓口は必要
- 身近な問題に対応してもらえる
- 公民館職員は臨時職員でも良いのでは
- 各地域毎に必要な性を研究してみてもどうか



▲大橋 寛 講師



▲例会風景

5月号予告

- 全小学校が取り組む「やっさ踊り」を目指して

子どもたちがやっさ踊りに触れる機会の現状について、今後どのように取り組んでゆかなければいけないか等

(社)三原青年会議所 ホームページ リニューアルのお知らせ

(社)三原青年会議所の活動やまちづくりに関する情報をより分かりやすく発信するためにホームページをリニューアルしました。それに伴いホームページの更新をお知らせするメールマガジンの発信も行ってゆきます

ホームページから登録できますので、皆様のご登録をお待ちしています。詳しくはホームページをご覧ください

HP: <http://www.mihara-jc.com>

やっさもっさ 伝言板

ちょっと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中!!
「元気な三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください

モニター募集

(社)三原青年会議所では「やっさもっさ」に対するご意見をいただけるモニターを募集しています。よりよい紙面をつくるために皆様の声をお聞かせください。
★紙面へのご意見、感想募集
毎月1回簡単なアンケートにご協力をお願いします
★詳しくはお問い合わせください

やっさもっさちゃんわる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	4/29日	30日	5/1日	2日	3日	4日
8:00		○	○	○	○	
9:30						
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP <http://mihara-jc.com>

三原青年会議所

検索

発行元 (社)三原青年会議所

編集 広報委員会



携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

全小学校で「やっさ踊り」に取り組み、 「やっさ祭り」に出場できる環境づくりを目指して!



やっさ踊り

市内各小学校で取り組まれている 地域の伝統芸能

現在三原市においても各地域の伝統芸能を、各学校の授業の中で取り組んでいる小学校が多くあります。

各小学校の取り組み

幸崎小学校	平和と五穀豊穰、大漁を祈願して奉納される獅子太鼓
沼田小学校	県無形民俗文化財で雨乞いや虫よけの祈りも兼ねて奉納する踊りちんこんかん
木原小学校	市無形民俗文化財太鼓踊り
深小学校	昔から豊作祈願、お祝い、家内安全等を願ってお盆を中心に実施深町太鼓踊り
船木小学校	船木の6地区に伝わる供養のための盆踊り扇子踊り
大草小学校	備後神楽の一種で古くから口伝で受け継がれている魔除けや縁起担ぎとして伝わっている大草神楽
三原小学校	三原城の築城を祝って踊られたやっさ踊り
西小学校	
糸崎小学校	
神田東小学校	白竜太鼓
北方小学校	梨和清流登り打ち太鼓
南小学校	三原やっさの唄
八幡小学校	やっさ太鼓



幸崎小獅子太鼓



船木小せんす踊り



木原小太鼓踊

子どもたちが地域に愛着、 誇りを持たなければならない

昨今、テレビや新聞の紙面を騒がす青少年の凶悪犯罪や、いじめなどの利己主義的な事件が、全国各地で毎日のように発生しています。これらの事件は決して他人事ではなく、同じような事件が私たちの身近なところで起きて何ら不思議ではありません。では、なぜこのような事件が多発するのでしょうか？その原因のひとつとして昭和の時代には当たり前のようにあった地域との繋がり(ご近所付き合い)が希薄になった事により、他人に対して無関心で自分さえ良ければよい、自分を守るためなら他人を傷つけても構わないと考えるようになり、大人たちには想像も付かないような事件を引き起こしていると考えます。このような時代だからこそ家庭や学校の教育だけではなく、地域の大人からも自分の生の由来や郷土の歴史を学ぶことで、郷土を愛する心を学ぶことが人間形成の上で最も重要なことだと考えます。現在の三原市においても地域の伝統文化を学んでゆくことによって、自分たちの住む地域について知り、先人たちの生き方から、自分たちの生き方を学ぶとともに、郷土の文化や伝統を大切に、郷土愛を育てゆくことが大切になってくるのではないのでしょうか。郷土愛をもった子どもたちが成長してゆくことで、自分たちの住む地域に誇りを持ち、先人の努力や郷土愛を継承し、そのような環境で育った子どもたちとともに、地域全体が一体感をもつことで、さらにその地域が発展してゆくと思います。

上記の様な取り組みが行われています。このような取り組みを行うことによって、子どもたちが各地域の歴史や伝統を学ぶことにもなり、その地域の良いところに気づき、地域に愛着や誇りをもって育てゆくと思います。これに加えて三原市全体を考える上では、各地域のみならず、もうすこし大きなくくりで伝統芸能を学ぶことによって、全市での一体感が生まれるのではないのでしょうか。

みたかきいたか

4年に一度行われるオリンピックが、今年の8月に北京の地で開催される。オープニング前のイベントとして平和と友好のシンボルとして世界をつなぐ聖火リレーが行われている。その聖火リレーの歴史をさかのぼると、今から72年前1936年ベルリン大会の時から始まり、ギリシ

ヤからベルリンまで12日かけて行われた。しかしその3年後、第二次世界大戦の時、ドイツ軍がその聖火リレーのコースを逆にたどって進出したことから、聖火リレーやコースは、ナチスの陰謀だと考えられている。◆戦争の戦略の一つとして行われたかもしれない聖火リレーも今では、大きなイベントとなり今年、北京大会では、世界21都市を130日かけて行われ最

大規模の聖火リレーとなっている。◆4月から北京五輪の聖火リレーが始まったが、中国で起こっているチベット問題の抗議行動の対象として、聖火リレーの妨害行動が、各地で行われている。中国側の行き過ぎる行動に対して、行動を起こさなければ、何も変わらないが、同じように行き過ぎると、混乱を招きかねない、この問題が平和的に解決される事を切に

願うものである。オリンピックファンとしても、問題の早期解決を願い、平和の象徴となる大会となる事を祈念したい。



放課後子ども教室で「やっさ踊り」取り組んでいます！！

～三原市立久井南小学校



三原青年会議所では「全ての子どもたちがやっさ踊りを経験」を提唱しています。そのような中、当会議所メンバーが外向する「やっさ祭り実行委員会」では、その理想を実現すべく様々なアクションを起こしています。今回はそのひとつ、久井南小学校の「放課後子ども教室」でのやっさ踊り指導取材しました。

やっさ祭り実行委員会が「子ども教室」で指導！

～経緯～

- ▶ PTA役員会にて、放課後子ども教室でやっさ踊りを取り入れてみないかという声上がる
- ▶ 「やっさ踊り委員会」の指導のもと、やっさ踊りの練習を4月より全児童で週1回行うことに
- ▶ その成果を5/18の運動会で披露

運動会に向けて練習中！



～踊りの練習の様～

子ども教室では「踊り委員会」メンバー数名が試行錯誤しながら、にぎやかに楽しく踊りの練習が行われていました。

真面目に取り組む子、おちゃらける子、休憩になると元気になる子…久井南の子どもたちはほとんどやっさ踊りに接した機会が無いのですが、ビデオでやっさ踊りの由来・踊り方・祭りの情景を視聴するなどしつつ、踊りの練習もどんどん上達してきています。

さあ、運動会ではしっかり踊れるのでしょうか?! この記事が発行されるころには、きっととても良い結果が出ていることでしょう。そしてもし8月のやっさ祭りにも出場してもらえれば、さらなる臨場感とやりがいを感じてもらえることでしょう。

子どもたちのために…

各学校でやっさ踊りに取り組み、やっさ祭りに出場することによって、子どもたちに努力・チームワーク・喜び・悔しさ・ふれあい・臨場感・一体感・達成感…等、様々な経験をしてもらえるのではないのでしょうか。だからこそ、

すべての子どもたちがやっさ踊りを経験できるように…
すべてはこのまちの明るい豊かな未来のために…

今年、現段階でのその他の学校の動きは…

- ▶ 高坂小学校、久井南小学校が新たな子どもチームとしてやっさ祭りに出場する予定です。
 - その他、昨年も出場した西小学校、三原小学校、糸崎小学校、附属小学校が出場予定です。
- ぜひあなたの学校も出場しませんか?!



やっさ祭り実行委員長
(三原JCより外向)

「このまちのアイデンティティ・一体感・郷土愛のため、今年こそはJCが唱えてきたやっさ子ども参加を実現させたい」



やっさ踊り委員長
(三原JCより外向)

「子ども参加実現の為、問題点を摘出し、それを克服出来る様々な施策とアクションを本年は実行します」



やっさ踊り副委員長
(三原JCより外向)

「このようなアクションが火種となり、今後さらに多くの子どもチームが増えてもらいたいし、増えてゆく努力を続けてゆきます」

6月号予告

- 地域と行政の協働
島根県邑南町以外にもあった！
これからの三原が目指す
地域と行政の協働のまちづくり先進地
- 地域の教育力先進都市を目指してvol.4
コミュニティ・スクールの具体例・導入による負担について
出雲市が目指す教育環境とは
そして三原が目指すべき教育環境とは

やっさもっさも言板

ちょっと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中心!!
 「元気な三原になるために」
 その他身近な意見もお聞かせください

モニター募集

(社)三原青年会議所では「やっさもっさも」に対するご意見をいただけるモニターを募集しています
 よりよい紙面をつくるために皆様の声をお聞かせください
 ★紙面へのご意見、感想募集
 毎月1回簡単なアンケートにご協力お願いします
 ★詳しくはお問い合わせください

やっさもっさもちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)						
	5/27日	28日	29日	30日	31日	6/1日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
 TEL:(0848) 63-3515 / FAX:62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
 HP http://mihara-jc.com
 ホームページからメールマガジンが登録できます



←
携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所

検索

発行元 (社)三原青年会議所

編集 広報委員会

(社)三原青年会議所
5月例会

“地域の教育力先進都市”を目指して

出雲に学ぶ!! 家庭・学校・地域が連携して子どもたちを育むシステムの確立 を開催!!



コミュニティ・スクール制度とは…

保護者や地域の皆さんの声を学校運営に直接反映させ、保護者・学校・地域・教育委員会が一体となって、より良い学校を作り上げてゆくことを目指す制度です。

学校運営協議会とは…

コミュニティ・スクール制度を活用するにあたり、各学校において保護者・学校関係者、地域の代表者によって構成された組織で、学校の運営方針に対して意見を述べたり、学校に起こった問題・課題に対して話し合いを行います。

はじめに

5月19日に三原国際ホテルにて五藤市長・植木教育長・市議会議員・市内の各小学校の校長・PTAや地域の方々、合計40名に参加していただき公開例会を開催しました。島根県出雲市より3名のパネリストにお越しいただき、コミュニティ・スクールについて生の声を聞かせて頂きました。



【パネリストプロフィール】 (写真左から)

出雲市教育委員会 学校教育課 教育研修係 係長—武田 寿博 氏
出雲市立 大社小学校 校長—松本 俊憲 氏
出雲市立 大社小学校 PTA会長 兼 地域学校運営理事会 副理事長
〔(社)出雲大社青年会議所OB〕—岩石 秀一 氏

「アクションを起こす」「人事権の委譲」

花田委員長 コミュニティ・スクールを導入した目的とそこに設置される「学校運営協議会」と既存する組織との違いは何でしょうか？

武田係長 コミュニティ・スクール制度を導入するにあたり、学校の支援団体として「学校の応援団」というキャッチフレーズで「学校運営協議会」を設置しました。評議員制度も全国各地で取り入れられていますが、大きな違いは校長の運営方針を承認したからにはアクションを起こしてもらうことだと思います。校長の運営方針を「学校運営協議会」が承認するという点については、校長や地域の方々からも当初は反対意見が多くありましたが、説明会や校長会で説明することで徐々に理解していただきました。もう一点、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、人事に関する意見を述べることもできるのも大きな違いだと思います。

「学校運営協議会がフォロー」

花田委員長 学校の立場で「学校運営協議会」をどの様に捉えていますか？

松本校長 これまでは様々な問題に対して個別に対応を行ってききましたが、それだけでは十分な対応は難しいと感じます。そこで、現在学校が抱える問題について、一まとめにして話し合うことが大切だと思います。また、問題の解決や外部からの圧力に対して、これまでは校長が矢面に立って対応を行っていましたが「学校運営協議会」があることにより協議会メンバーにフォローしてもらい、みんなで学校を守ろうとする意識が高まったように思います。

花田委員長 先生の意識はいかがでしょうか？

松本校長 先生の中には、人に授業を見せたくないという気持ちがあるようですが、これは良くないことです。だから、生徒を連れて他のクラスに見学に行かせるなどして、先生が裸になる環境を作っています。しかし、まだまだ学校というところは閉鎖的なところが多くあります。そこをオープンにして地域に公開し、より多くの地域の方に見ていただける様に進めていくことも重要だと思います。大社小学校でも一日授業公開日を設けてその環境整備を進めています。

みたかきいたか

子どもは親の写し鏡とよく言われるもので、子どもの行動から親の真の姿が本当に見て取れる。実際私も親の立場になって初めて子どもの躰にはつくづく手を焼いている。他人様に迷惑をかけることはしてはならない、きれいな言葉遣いをしなさいと子どもを叱る自

分がある。この言葉も小さい頃に私の親や祖父母からこっぴどく叱られた経験から出ているものだと気づき、改めて両親に頭が下がる。◆「モンスターペアレント」という言葉を耳にした。主に保護者が学校に対して繰返し理不尽な要求をする行為の和製英語である。現在では本来の役割ができない学校が増え、国がこれに対応する法を整備さ

せるまでに発展しようと社会問題化している。このような保護者が増える背景には、核家族化により地域との人関係が希薄になった結果、その不満の出口が直接学校に向けられたものだと考えられている。◆しかしながら、国が怪物に拳骨いれたところで、根本的な問題は解決しないだろう。地域ごとで家庭の心を育てる環境作りが急務

である。元を正せば解決への道のりはそう遠くないはずだ。◆地域から厳しくも暖かく見守られていると実感し、光り輝く鏡たちが明るい未来を照らすまちとなることを願う。

父の拳骨ほど忘れられない味はない。

「やっさ踊り」を運動会で発表！

久井南小学校

5月18日心地の良い風がふく日曜日。久井南小の子どもたちがこの1ヶ月がんばって練習してきた「やっさ踊り」を運動会の最後のプログラムとして披露しました。



アナウンスとともに子どもたちが2カ所から踊りながら入場。とってもいい顔で、元気に楽しく踊りました。また子どもたちだけでなく、保護者の方たちも一緒になって踊りました。もちろん踊りを知らないお父さんたちも多かったです、とにかく一緒に親子が一緒に入り交じって、運動会のラストを飾るのにふさわしい、とても一体感を感じる瞬間でした。



「やっさ踊り」というツールを通して、久井南小に良い思い出ができたのではないのでしょうか。また夏のやっさ祭りにも出場する予定と聞きました。そして、この取り組みがきっかけで久井南の地域でもやっさ踊りを踊ろうという話が出ているとも聞きました。この記事を見た他の学校にも「やっさ踊り」の取り組みが広がってゆくことを願っています。

このまちのアイデンティティと、一体感と、郷土愛を…暑い夏の日「やっさ祭り」の場で…



子どもたちの声

「踊りが楽しかった」
「やっさ祭りに参加したい」



私たちも参加します！

高坂小学校が「やっさ祭り」に出場！！

前回の久井南小学校に引き続き、高坂小学校がやっさ祭り参加に名乗りを上げました！

経緯

本年度三原やっさ祭り実行委員会からの強い働きかけがあり、高坂小学校の飯田校長は心打たれ、出場に向け検討を始める。飯田校長がPTAと話をすると「参加しましょう」と前向きな意見が出る。また、教師との話し合いでも「参加するなら、運動会でもやりましょう」と参加実現に向かって、歩み始める。PTC活動の一環として、やっさ祭り参加を決定する。



高坂小学校とは

全児童23名、先生は校長先生を含め6名という小規模学校ですが、子どもたちにたくさんの体験や経験をしてもらいたい、という飯田校長の方針の下、教育内容は充実しており、積極的に教育活動をされている小学校です。



踊りの練習の様子

高坂小学校の子どもたちはやっさ踊りに初めて接する子ばかりですが、まずは6月1日に行われる運動会に向けて練習を行っていました。三原やっさ踊り振興協議会の方が2回指導に来て、子どもたちと教師とが一緒に踊りを学びました。また、ビデオを見たり、昼の時間に「やっさ踊り唄」をかけたりして「やっさ」になじむ努力を行っていました。

そして運動会当日

運動会当日は晴天に恵まれ、高坂小学校の児童たちは高坂保育園の園児たちと共にやっさ踊りを踊っていました。教師の考案したフォーメーションで、グラウンドいっぱいを使って踊る児童たちには、ぜひとも、やっさ祭りの舞台で楽しく踊ってほしいと、心から願うばかりです！



運動会を終え、やっさ祭りに向けて 飯田校長に伺う

飯田校長「伝統文化を継承することも重要な教育である。また、児童にはいろいろな体験をさせたいし、学校内だけではなく祭りで踊りを披露することで、より効果が出るのだと思う。しかし、まだまだ児童たちは踊りに慣れていないし、祭りに参加するイメージも出ていないが、これから徐々に祭りに向けて意識を盛り上げてゆきたい。また、子どもたちが運動会で踊ったことにより、地域の人たちからも、やっさ祭り参加の声が出始めている。学校がそういった地域の交流の場所としての役割を果たすことも、大切なことなのではないだろうか。」

7月号予告

●市民と行政の協働のまちづくり
三原の目指すべきまちづくり先進地事例の紹介
それによって三原市がどう変わってゆかが



やっさもっさも言板

ちよつと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中!!
「元気な三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください

モニター募集

(社)三原青年会議所では「やっさもっさ」に対するご意見をいただけるモニターを募集しています
よりよい紙面をつくるために皆様の声をお聞かせください
★紙面へのご意見、感想募集
毎月1回簡単なアンケートにご協力お願いします
★詳しくはお問い合わせください

やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	7/1日	2日	3日	4日	5日	6日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○		○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページから
メールマガジンが登録できます



←
携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所 検索

発行元 (社)三原青年会議所

編集 広報委員会

子どもたちに郷土愛と一体感を!

～やっさ祭りに将来の三原の夢をみる～



本年度(社)三原青年会議所では、合併した三原市が小早川家を通じて共通の歴史をもつことから「やっさ踊り」を通じて子どもたちの郷土愛を育み、三原市の一体感を深めてゆけると考え、挑戦しております。

今年、三原青年会議所から出向しているやっさ祭り実行委員会が全小学校からの「やっさ祭り」出場を目指し、教育委員会、各学校、PTA、子ども会などに出場を呼びかけてきましたが、趣旨には賛同してもらえるも、ほとんどの学校ではさまざまな事情から残念ながら今年の出場にはいたりませんでした。しかし、呼びかける活動を続けた結果、5月号、6月号で紹介した久井南小学校、高坂小学校以外にも、沼田東小学校、八幡小学校が今年新たに子ども主体のチームとして「やっさ祭り」出場を決めました。

6月号で紹介したように尾道では子どもたちの郷土愛を育てるために「ええじゃん

SANSA・がり」に取り組み、全小学校での尾道みなど祭り出場を実現しています。その結果、小学校で「ええじゃんSANSA・がり」を踊った子どもたちが中学、高校と成長しゆく中で自ら進んで学校単位で「ええじゃんSANSA・がり」に出場するなど、確実に子どもたちが尾道への郷土愛を育てているのではないのでしょうか。そしてこの子どもたちは尾道に住み続けたり、尾道を離れても戻ってきたり尾道を元気に盛り上げてゆく存在となると思います。このような結果が出ている尾道から学ぶことはたくさんあるのではないのでしょうか。

多くの市民が親しみ、踊っている「やっさ踊り」は郷土愛を育み、三原の一体感を深める有効な手段であると思います。だから今こそ、全小学校で「やっさ踊り」に取り組んでゆき「やっさ祭り」出場を実現してゆくべきだと思います。学校、PTA、子ども会など、それぞれが主

導で「やっさ祭り」出場にはまだまだ多くの障害がありますが、この取り組みの趣旨には多くの賛同をいただいています。そのような中、この取り組みを実現してゆくためには、踊り手や学校関係者など、祭りの運営に携わる人以外の人たちも一緒になってまち全体で考えてゆかなければならないと思います。

(社)三原青年会議所ではこの郷土愛と一体感を柱とした「やっさ祭り」を考える会設立を目指してゆきたいと考えています。そこへ、踊り手や学校関係者なども参加しそれぞれが協力し、力を合わせ、なぜ取り組むことが難しいのか。どうしてゆけば障害となっている問題を解決できるのかを話し合っゆくことでこの取り組みの実現へ近づくのではないのでしょうか。三原市の未来のために、郷土愛と一体感を育てるため、全小学校が出場する「やっさ祭り」を実現し、元気な三原を目指してゆきましょう。

みたかきいたか

やっさ踊りのお囃子がまちのいたるところから聞こえてくる。この音色が三原の夏がすぐそこまでせまってきたことを教えてくれる。今年で33回を迎えるやっさ祭りの準備も着々と進んでいるようだ。しかし、その祭りの会場の中心とわいていい駅前では、再

開発ビルの建設工事が遅れ、これから先がどうなるかわからないことも加えて、街全体に不安が広がっている。◆三原市では、行政と市民、さらには各種団体など関係者が、「協働」でまちづくりを行うという方法に取り組んでいる。この関係者総出(協働)という方法で、まちの大きな財産ともいえる「やっさ祭り」をよりよいものに、さらに駅前

の問題も含めて解決できないものであろうか。◆NHKテレビ小説「さくら」の舞台に選定された「飛騨古川」の町並みは、祭りと一体となって独特の世界を生み出しているように、全国的にもそのような成功事例は多いようだ。わがまちも、浮城の異名を持つ三原城に、その築城を祝ったことが起源といわれるやっさ踊りがある。文化(踊り)と景

観(城下町)をより際立たせるように一体的に取り組むまちづくりを望む声も多いのではないだろうか。誰が行うというのではなく、自分は何ができるだろうかと考えてみたい。今年の「やっさ」には、どのような祭りがこの三原に相応しいのかという視点を持って参加してみるのもいいかもしれない。

あなたの声で、三原が変わる！

「地域の身近な市役所」の提案に向けて、市民から意見を募集！

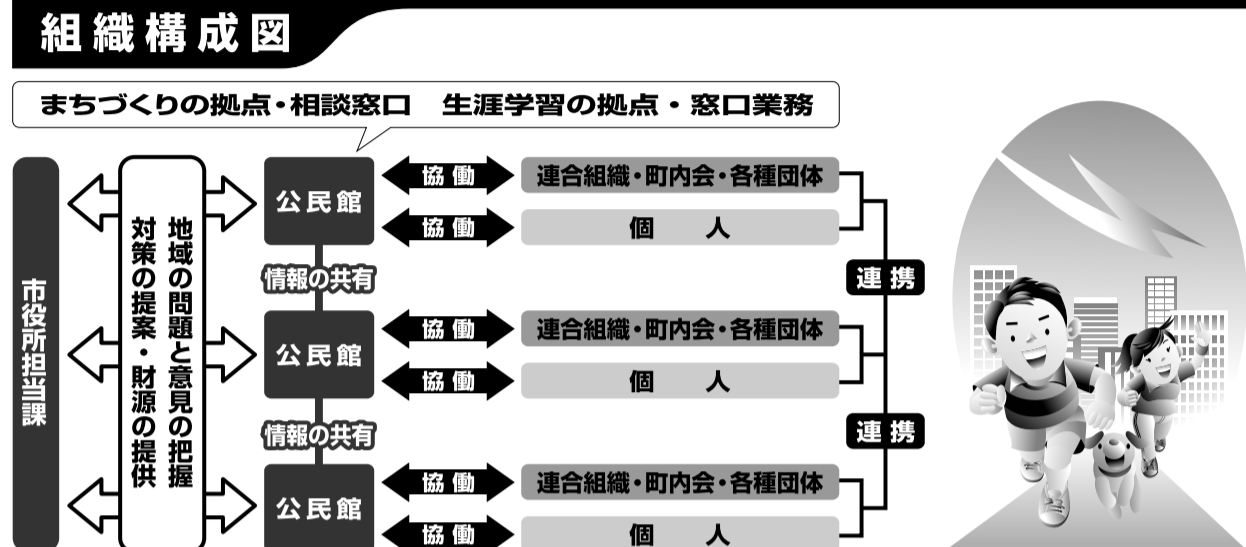
皆さんの身近で困ったことを感じたことはありませんか？

三原を「協働のまちづくり先進都市」へ

2000年より(社)三原青年会議所は、市民・企業・行政が協力しておこなうさまざまな協働のまちづくり活動を展開してまいりました。協働のまちづくりには、大きく二つの考え方があります。ひとつは「ある目的に対して、市民・企業・行政が集まりおこなう協働」。もうひとつは「各地域と行政がおこなう協働」です。三原市は今年度「市民協働のまちづくり推進計画」を策定し、推進しようとしています。今こそ、市民によるまちづくりへ向かって進んでゆくべきなのではないでしょうか。

新たな公民館の活用！「地域の身近な市役所」！三原のまちづくりの新たな仕組み作り！

旧1市3町が合併し、広域となった三原市は、市民の公共的なサービスに対する要求が今まで以上に多様化し、画一的な手法で問題解決することが難しくなっています。そこで、私たちは「地域の身近な市役所」としての「公民館」を提案いたします。この「地域の身近な市役所」は、行政職員が常駐し、地域活動の担い手となり、各地域の身近な問題から市政のありかたまで、幅広く市民の声を聞き、市役所と地域住民との間に入ってまちづくり活性化のコーディネートを行い、協働でまちづくりを行ってゆきたくみです。



「地域の身近な市役所」についてのご意見募集！

三原を元気にする「まちづくり」のために、私たちはこれからも研究し、皆さんや行政に積極的に提案してゆきたいと考えています。そこで、市民の皆さんから、この「地域の身近な市役所」についての、ご意見ご感想をお待ちしております。(社)三原青年会議所までご連絡ください。郵送、ファックス、e-mailで受け付けております。

皆様からのご意見を参考に、研究を深め、行政に「地域の身近な市役所」について訴えかけてゆきます！

三原を元気にするまちづくりへ 私たちは挑戦します！

担当：元気な三原推進委員会 委員長 矢崎まで (連絡先は3面のやっさもっさ伝言板をご参照ください)

県立総合技術高校に、講師を派遣！ 高校生に仕事や人生の意義を伝える！

7月9日(水)の午後(社)三原青年会議所メンバーの小林正典君と勝原清志君が広島県立総合技術高校の教壇に立ちました。それぞれ受け持った50分間の授業の中で、現代ビジネス科1年生の生徒(約40名)に、自らの体験や職業について、熱く語りました。

ことを訴えました。資格を持つことの意義、それを使ってどのようにして人の役に立っているか、そして仕事をすることの喜びとは何かを、自らの経験をもとに語りかけていました。

■勝原君の授業
勝原君は、大学生で培った硬式ソフトボール部の経験を人生訓とし、努力することで報われることを訴えかけました。また、仲間から自分が助けてもらっていること、仲間を助けることといった、チームワークの重要性を熱く語っていました。



■経緯
この取り組みは、総合技術高校からの依頼で3年前から行われています。そこには、福原治校長の熱い思いがあります。行政マンから学校長に転向されたという異色経歴を持つ福原校長は、生徒たちに「高い情熱と使命感」を持ってもらいたいと願い「人を育てること」が大切と訴えています。そこで、若手経営者からの生の声を聞くという趣旨

■総合技術高校とは
平成17年に開校した、特色のある6つの科を持っている高等学校です。企業とのインターンシップや、校内での模擬商店の開設、専門的な知識を生徒たちに教え、即戦力となりえる人材を育成することを目指しているのと同時に、人間的に豊かな心を持つ教育方針をとっています。まだ開校して間もない学校ですが、昨年の広島県高校野球選手権での準優勝を含め、スポーツ活動なども盛んな学校であることは、皆さんのご存じのとおりです。



■小林君の授業
不動産業を生業としている小林君は、自分を磨く

のもと、これに賛同した三原青年会議所メンバーが、自らの仕事や経験から、職業観や人生観を伝えるため、この授業が始まりました。

■生徒たちの反応
まず、学校の中に入ると、元気に気持ちのよい挨拶をする生徒が多いことに驚かされました。そして授業では、時には真剣に、時には笑い、まじめに授業を受けていました。そして、反応はとて正直でした。また、講師の発言で気になったことを一生懸命にメモしている姿を見ると、そこには生徒たちの真剣さを感じました。また、休憩時には仲間たちとわいわいと騒いでいる姿を見ると、今も昔も高校1年生は変わっていないなという妙な安堵感を感じたのでした。



■最後に
生徒たちに職業観や人生観を伝えることを通じて、講師自らも生き方を再確認する機会を与えていただいたことに、感謝の念を覚えるほどでした。そして再び、9月3日に2名の講師を派遣いたします。その時、生徒たちと(社)三原青年会議所メンバーとの間に、100分(50分が2コマ)の授業を通じて、私たちはできる限りの事を伝えたいと思ひます。

8月号予告

●やっさもっさを終えて
・実行委員長挨拶
・子ども部門出場チーム感想

やっさもっさ伝言板

ちよつと一言投稿募集
皆さんの投稿募集中!!
「元気な三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください

モニター募集
(社)三原青年会議所では「やっさもっさ」に対するご意見をいただけるモニターを募集しています
よりよい紙面をつくるために皆様のお聞かせください
★紙面へのご意見、感想募集
毎月1回簡単なアンケートにご協力お願いします
★詳しくはお問い合わせください

やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)	7/29日	30日	31日	8/1日	2日	3日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○	○	
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL : (0848) 63-3515 / FAX : 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページからメールマガジンが登録できます

三原青年会議所 検索

発行元 (社)三原青年会議所 編集 広報委員会

- 月見幼稚園 松尾社野士事務所 益谷建設事務所 月見幼稚園 松尾社野士事務所 益谷建設事務所 月見幼稚園 松尾社野士事務所 益谷建設事務所 月見幼稚園 松尾社野士事務所 益谷建設事務所
- 伊予国三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内 TEL : (0848) 63-3515 / FAX : 62-1141

(社)三原青年会議所の自主財源で発行しています。



第33回

三原やっさ祭り

8月8日(金) 創作・正調やっさ

番号	チーム名	種別	出場	Aコース	Bコース	Cコース
7	本町町内会連合会	正調	A	19:00	19:21	19:48
8	帝人グループ	正調	A	19:03	19:24	19:51
9	さなえ民謡秀涼会三原民謡やっさ会合同チーム	正調	A	19:06	19:27	19:54
10	三原警察署	正調	A	19:09	19:30	19:57
11	三原青色申告会 三原地区納税貯蓄組合連合会	正調	A	19:12	19:33	20:00
12	地元愛チーム	新人	A	19:15	19:36	20:03
86	ちづか 恋々連	正調	A	19:18	19:39	20:06
84	和田町やっさ会	正調	A	19:21	19:42	20:09
13	ハラジン アンド オノジン	新人	A	19:24	19:45	20:12
14	秀祭連	新人	A	19:27	19:48	20:15
15	タクトコーポレーションとゆかいな仲間達	正調	A	19:30	19:51	20:18
16	社団法人 三原青年会議所	正調	C	19:33	19:54	19:00
17	もんちっち	正調	C	19:36	19:57	19:03
18	リョーコー	正調	C	19:39	20:00	19:06
19	株式会社リョーイン	正調	C	19:42	20:03	19:09
20	帝人化成(株)三原工場	正調	C	19:45	20:06	19:12
21	三原菱重機工株式会社	正調	C	19:48	20:09	19:15
22	尾三建設局	正調	C	19:51	20:12	19:18
23	三原市役所	正調	C	19:54	20:15	19:21
24	三菱三原	正調	C	19:57	20:18	19:24
85	三原やっさ祭り保存会	正調	C	20:00	20:21	
1	スタジオ来夢	創作	B	20:03	19:00	19:27
2	ミュージカルシティ三原ピープル	創作	B	20:06	19:03	19:30
3	寿波苑やっさ倶楽部	創作	B	20:09	19:06	19:33
4	尾道ええじゃん連	創作	B	20:12	19:09	19:36
5	栄会シリーズ第6章 さかえ平安絵巻	創作	B	20:15	19:12	19:39
75	みたか連	創作	B	20:18	19:15	19:42
6	ママさんバレー	新人	B	20:21	19:18	19:45

8月9日(土曜日)子どもやっさ

番号	チーム名	種別	出場	Aコース	Bコース	Cコース
子ども1	沼田東小学校おやじの会	子ども	A	17:00	17:12	
子ども2	八幡小学校	子ども	A	17:02	17:14	
子ども3	元気いっぱい高坂KIDS	子ども	A	17:04	17:16	
子ども4	久井南スマイルチーム	子ども	A	17:06	17:18	
子ども5	子どもやっさ宮沖連合会	子ども	A	17:08	17:20	
子ども6	三原小レインボー隊	子ども	A	17:10	17:22	
子ども7	西小踊ろう会	子ども	A	17:12	17:24	
子ども8	糸小ふれあいチーム	子ども	A	17:14	17:26	

8月9日(土曜日)正調やっさ前半

番号	チーム名	種別	出場	Aコース	Bコース	Cコース
40	明日にかけの橋	正調	A	18:00	18:45	19:18
41	港町こども会	正調	A	18:03	18:48	19:21
42	三原高校 柏葉っ子	正調	A	18:06	18:51	19:24
43	明神南町内会	正調	A	18:09	18:54	19:27
44	円一町内会	正調	A	18:12	18:57	19:30
45	深町連合町内会	正調	A	18:15	19:00	19:33
46	宗郷やっさ会	正調	A	18:18	19:03	19:36
47	松島会	正調	A	18:21	19:06	19:39
48	山陽建設株式会社	正調	A	18:24	19:09	19:42
49	JA三原やっさ会	正調	A	18:27	19:12	19:45
50	株式会社セイム	正調	A	18:30	19:15	19:48
94	三原中央ライオンズ	正調	C	18:33	19:18	18:00
52	城町町内会	正調	C	18:36	19:21	18:03
53	BQ夜茶会	正調	C	18:39	19:24	18:06
54	OLDRIVERS古川製作所	正調	C	18:42	19:27	18:09
55	三菱三原病院	正調	C	18:45	19:30	18:12
56	大日本印刷株式会社	正調	C	18:48	19:33	18:15
93	西川ゴムやっさ同好会	正調	C	18:51	19:36	18:18

番号	チーム名	種別	出場	Aコース	Bコース	Cコース
89	ガスがええじゃん	正調	C	18:54	19:39	18:21
59	三原市・湯河原親善都市交流踊り連	正調	C	18:57	19:42	18:24
60	トラ連佐木島	正調	C	19:00	19:45	18:27
61	天晴会	正調	C	19:03	19:48	18:30
25	三原東高校 舞踏会	正調	B	19:06	18:00	18:33
26	広島大学附属 三原学園チーム	正調	B	19:09	18:03	18:36
27	中国新聞 備西会	正調	B	19:12	18:06	18:39
39	広島信用組合チーム	正調	B	19:15	18:09	18:42
29	共仕販 宅配グループ	正調	B	19:18	18:12	18:45
30	中之町WITH YOU	正調	B	19:21	18:15	18:48
31	やっさ饅頭本舗	正調	B	19:24	18:18	18:51
32	館町やっさ会	正調	B	19:27	18:21	18:54
33	広島銀行やっさ会	正調	B	19:30	18:24	18:57
34	さわがん会	正調	B	19:33	18:27	19:00
35	株式会社 中国銀行	正調	B	19:36	18:30	19:03
36	白竜やっさの会	正調	B	19:39	18:33	19:06
37	しまなみ信金やっさ会	正調	B	19:42	18:36	19:09
38	八幡やっさ会	正調	B	19:45	18:39	19:12
28	愛妻家 やったら連	正調	B	19:48	18:42	19:15

8月9日(土曜日)正調やっさ後半

番号	チーム名	種別	出場	Aコース	Bコース	Cコース
77	須波宗斎会 ひまわりチーム	正調	A	19:51	20:36	21:09
78	明清会 山田脳神経外科	正調	A	19:54	20:39	21:12
79	栄会 総本山	正調	A	19:57	20:42	21:15
80	特定医療法人 里仁会	正調	A	20:00	20:45	21:18
81	EAGLE	正調	A	20:03	20:48	21:21
82	三原市医師会病院	正調	A	20:06	20:51	21:24
83	友信連	正調	A	20:09	20:54	21:27
84	和田町やっさ会	正調	A	20:12	20:57	21:30
85	三原やっさ踊り保存会	正調	A	20:15	21:00	21:33
86	ちづか恋々連	正調	A	20:18	21:03	21:37
87	祭華連	正調	A	20:21	21:06	21:40
88	特定医療法人 大慈会 三原病院	正調	A	20:24	21:09	21:43
58	やっさ太鼓ファミリー	正調	C	20:27	21:12	19:51
90	フジグラン三原	正調	C	20:30	21:15	19:54
91	おはじけ会	正調	C	20:33	21:18	19:57
92	さいかいメイト	正調	C	20:36	21:21	20:00
57	三原慶雲寮 元気会	正調	C	20:39	21:24	20:03
51	お祭りスタジオ アイ・ウィル土居写場	正調	C	20:42	21:27	20:06
95	誠友連	正調	C	20:45	21:30	20:09
96	ジャスコ三原ショッピングセンター	正調	C	20:48	21:33	20:12
97	医療法人 清幸会 土肥病院	正調	C	20:51	21:36	20:15
98	総合病院三原赤十字病院	正調	C	20:54	21:39	20:18
99	ブルーエンジェル	正調	C	20:57	21:42	20:21
62	太極拳 悠の会	正調	B	21:00	19:51	20:24
63	TANENS	正調	B	21:03	19:54	20:27
64	三原看護専門学校	正調	B	21:06	19:57	20:30
65	重太郎一家	正調	B	21:09	20:00	20:33
66	ちよんわ	正調	B	21:12	20:03	20:36
67	乱舞隊	正調	B	21:15	20:06	20:39
68	三原やっさ会	正調	B	21:18	20:09	20:42
69	久井町江木区やっさ会	正調	B	21:21	20:12	20:45
70	撫子	正調	B	21:24	20:15	20:48
71	絆	正調	B	21:27	20:18	20:51
72	RANS	正調	B	21:30	20:21	20:54
73	かんぱいCheers	正調	B	21:33	20:24	20:57
74	TEAMがっち	正調	B	21:36	20:27	21:00
75	みたか連	正調	B	21:39	20:30	21:03
76	ラーメン康	正調	B	21:42	20:33	21:06

やっさ♪やっさ♪

やっさもっさ♪そっちやせー

三原の真夏の祭典やっさ祭りがついに来しました。1976年(昭和51年)にスタートした『三原やっさ祭り』も本年度で33回目になり、市民総参加の一大祭典と発展を遂げています。今年はやっさ祭りは、8月8日、9日、10日に開催され、実行委員会メンバーはキャンペーンテーマの『三原の心 やっさ魂 2008』を合い言葉にし、多くの方に三原市に対する郷土愛と三原市全体の一体感を実現する為に頑張ってきました。

8月8日(金曜日)、9日(土曜日)

交通規制及び踊りコース図

8月10日(日曜日) 交通規制図



8月9日(土曜日)

子どもやっさ踊りコース図



今年はやっさ祭りの見所として、8日(金曜日)は、昨年から継続している創作やっさ踊りと正調やっさ踊りでオープニングを飾ります。9日(土曜日)は今年の実行委員会が訴えてきた『子どもやっさ』、そして一般正調やっさの2部構成になっていて、表彰式も子どもの部と一般の部と2回行います。今年の出場人数も、子ども約2000人と大人約5000人となっていて、昨年と比較しますと1000人以上の増加となっています。壮大な踊りが繰り広げられると思います。最終日10日(日曜日)は沼田川河川敷で行うマリンジェットイベントそして、フィナーレを飾る5033発の花火大会となっています。是非皆様第33回三原やっさ祭りにお越し下さい。また、踊りに参加される皆様しっかり楽しんで下さい。

※この新聞は、8月8・9日にやっさ祭りインフォメーションでも配布いたします。

8月8・9日、三原駅前で開催された「やっさ祭り」に約2000人の子どもたちが出場し、やっさやっさのおはやしが響き渡りました。今月号は元気よく「やっさ踊り」を踊った子どもチームに注目してみます。

三原の全ての子どもたちにやっさを！

本年度(社)三原青年会議所では、合併した三原市にもっと「郷土愛と一体感」を深めるためには「やっさ踊り」を踊り「やっさ祭り」に出場することが有効なのではないか、と提唱しています。第33回三原やっさ祭り実行委員会は、「子どもやっさ部門」を新設し、行政や教育関係機関、また各小学校等に積極的に出場を訴えかけ、本年度は8月9日の「子どもやっさ部門」に昨年までの4チームに、新規4チームが加わり、合計8チームの子どもたちの出場が実現しました。しかし、三原市内には32の小学校があり、今年はその4分の1の出場となりました。全ての子どもたちの出場にはまだまだ遠い状況でしたが、その実現へ向けた第一歩を踏み出しました。

第33回 三原やっさ祭り 開催!!

約2000人の子どもたちが踊りに参加!
～三原の元気な未来を夢みる～



みたかきいたか

当会議所の「地域の教育力向上委員会」が推進しているコミュニティ・スクールが昨年の197校から今年の4月時点で343校に増加したことが文部科学省のまとめでわかった。全国ベースで見ると導入率は1%未満であり、都道府県別

の導入状況も偏りがあるため、文科省はさらに普及に努め今年5月、事例集を5万部作成して全国の公立校や教育委員会に配布している。◆日本大学の佐藤晴雄教授が昨年度設置した185校に行ったアンケートでも「地域が協力的になったか」という問いに肯定的な回答が過半数を占めた。同教授は「教師

や教育委員会だけで運営していた学校に住民や保護者の力を取り込めば活性化につながるはず」と指摘している。◆話しかわかるが、今年も盛大に三原やっさ祭りが開催された。その中で子どもやっさとして8チームが参加し三原のまちを練り躍った。昨年の4チームから倍のチームが参加した背景には実行

委員会の積極的な呼びかけに、保護者や学校関係者が共感した結果だ。◆三原市にもコミュニティ・スクールが導入され学校、地域、保護者が力を合わせ教育環境の活性化に取り組んで欲しい。その活性化の一つの方法として三原やっさ祭りに参加することは非常にふさわしいのではないだろうか。



参加した子どもたちの声

今回新設された「子ども部門やっさ大賞」を受賞した西小学校の児童たちからは「優勝してうれしい」という素直な声が出ていた。はじめての大舞台で踊る1年生は、何度も踊ったことのある高学年の児童へのあこがれもあるようで「もっと上手に踊れるようになりたい」との声もあった。高坂小学校の児童からは「来年も出たい」久井南小学校の児童からは「もっと踊りたかった」沼田東小学校の児童からは「お客さんにがんばれと声をかけられて、うれしかった」という声もあった。初めて大舞台で踊る子どもたちにとっては、良い経験になったように感じる事ができた。

保護者に聞く、子どもたちの「やっさ踊り」

「参加してよかった」という声を多く聞く事ができた。「たくさんの観客の前で、やっさ踊りを踊れてよかった」といった、学校で練習した成果を披露できる機会があることへの喜び「祭りの臨場感を子どもに体験させてやれてよかった」という、大舞台での体験へのうれしさ

「進行もスムーズで、子どもたちへの負担も少なかった」など、運営への感想なども聞く事ができた。「子どもたちが賞が取れなくて残念だった」という声もあったが「また出場して賞を取りたい」といった次回への意気込みも感じる事ができた。

先生たちの感想

子どもたちが踊り終えた姿を見ながら、先生たちも満足そうだった。やっさ踊りを踊ったことのある先生からは「やはり、学校内だけで踊りを披露させるだけでなく、祭りの独特の雰囲気の中で踊ることは、子どもたちにとって良い体験なるだろう」という声が聞かれた。

観客の反応

観客の中には、知っている子どもたちに「がんばれ！」と声をかけ応援している人が多かった。観客の表情は、とても温かいものだった。「子どもたちが元気にがんばって踊っている姿を見ているだけでも、とても楽しい気分になる」という声があり、好意的に受け止められているようだった。

まとめ

「子どもたちにやっさ踊りを」という動きは、これまでも学校や地域で行われてきたことですが、本年度(社)三原青年会議所は「三原の全ての子どもたち」へ対象を広げて活動してまいりました。この活動は本年度だけで終わるものではありませんし、終わらせてはいけません。全ての三原の子どもたちが「やっさ踊り」を踊る日が来るまで、私たちは活動をつづけてゆきます。そして、全ての子どもたちがやっさ祭りに出場してゆくためには、市民の皆さん、地域の皆さんの理解と協力が必要となってきます。今年出場した子どもたちや保護者や観客の笑顔を見て、この「三原の全ての子どもたちへやっさ踊りを」という活動が、三原にとって有意義な活動であることを実感する事ができました。想像してみてください。市民の祭りである「やっさ祭り」に、三原の全ての子どもたちがやっさ踊りを踊っている姿を…。また、それが10年、20年と続いたときに、どれだけの効果が生まれるかを…。そこには、明るい三原の未来像があるとは思いませんか？より一層、元気な三原を創り上げてゆくために、今こそ市民が「やっさ祭り」を通じたまちづくりを行なってゆくことが、大切になってくるのではないのでしょうか。

子どもやっさに参加したチームに追跡取材!

三原のすべての子どもたちがやっさ祭りに出場するためには…

出場チームに取材!

本年度当会議所では「三原に郷土愛と一体感を深めるためには、やっさ踊りが有効な手段となりえるのではないかと考え全小学校のやっさ祭り出場へ向けて行動してまいりました。

第33回三原やっさ祭りでは新設された「子どもやっさ部門」に、新規4チームが加わり、合計8チームがやっさ祭りに出場し、全小学校の4分の1の出場という結果となりました。目標に向けて大きな一歩を踏み出しましたが、残念ながら全校出場には至りませんでした。

すべての子どもたちへ「やっさ踊り」をどのように伝えてゆくか、生の声を反映させて解決方法を検討してゆくために、今回出場したチームに取材を行いました。



にもなった。また、子どもたちがいる前で表彰式が行われ、自分たちの学校の名前が呼ばれることで、子どもたちが自分たちの踊りがよかったことを理解しやすかった。

三原小

- 時間帯が早く終わるので、保護者にとってはよかった。
- 子どもやっさの部だけで終わるのは少しさみしかった。やはり保護者や地域の大人と一緒に踊ったほうが楽しいと思う。
- 出場しやすくなったかという質問に対しては、良くも悪くもまったく変わらないと思う。

八幡小

- 子どもたちが、子どもたちだけで参加することで、高学年が低学年をサポートするなど子どもたちだけで一体となれたことは、とても良かったと思う。
- 今までより、バスの手配・時間設定などに配慮があり、十分に子どものことが考えられてあり良かったと思う。



質問

1 「子どもやっさの部新設」について、具体的に良かったこと・悪かったことを教えてください。また、子どもやっさの部を新設したことによって、出場しやすくなったと思いますか?

糸崎小

- 子どもたちが小学校という同じくくりで踊ることができ、それに対して評価されるという事は、とても良いと思う。

西小

- 子どもの部で表彰されて、子どもも保護者も関係者もとてもうれしかったし、やりがい

みたかきいたか

北京オリンピック(五輪)の競泳で二大会連続二冠を達成した北島康介選手が「一日教師」としてある小学校を訪れた。授業は「夢」について。北島選手は小学校6年生の時に「五輪で金メダルをとる」と将来の夢を描いていた。「夢は叶えるためにあるんだよ。だから僕はつらくても

毎日の積み重ねを大切に、投げ出すことはしなかった」と北島選手。また「大きな夢をもち、あきらめずに、最後まで頑張ることが何よりも大切」とアドバイス◆現代の教育は、子どもが夢を持ちにくい環境になっているのではないだろうか。教育に関する様々な不祥事が毎日のように報道されているが、現場でまじめに命をかけて教育に従事されている先生方を思うと非常

に残念である。子どもたちが夢をもち、まっすぐに力強く育て育んでゆける教育環境を望む◆改善という言葉が、英語の辞書にも載っている。現在の状態に満足せず、常に改善、前進してゆることが大切である。天才は99%の汗と、1%のインスピレーションからできているとエジソンは言った。インスピレーションの大切さは言うまでもないが、その考えの上に更に改善を積み

重ねる人こそが、本物の天才なのだろう◆未来は不確定で、明日何がおこるか誰にも分からない。それは、この世に存在しているあらゆるものが変化し続けているからだ。昔はその真理を“無常”という言葉で表現した。教育基本法が改正され、その中に地域と家庭の役割が新しく明記された。三原市においても学校、地域、家庭がスクラムを組み教育環境の改善・活性化を望む。

2009年度(社)三原青年会議所
理事長予定者
盛影 誠司



問題を抱え将来への不安材料を払拭しきれてはいません。その上で、だれもが幸せを実感できる未来の三原に向かって、青年会議所メンバーとして、また責任世代の人間として、積極的に変革してゆく我々の役割、責務は大きいと考えます。

そこで、2009年度(社)三原青年会議所は、本年度のスローガン「挑戦」の志と熱い情熱を受け継ぎ、ビジョン「三原の誇想 創力」にありますように、三原が主体性を持って、独自の力で固有の歴史、伝統、風土、文化を活かしたまちとなれるよう、まちの根幹ともいえる地域の人が未来への可能性を感じ、前向きにまちづくりへと関わってゆけるように取り組んでゆきます。また、未来への希望、地域の宝とも言える子どもたちが、地域において密接なつながりと愛情を感じ、且つ安心して安全に学び育つことができる教育環境を目指してゆきます。

最後になりましたが、先輩諸兄が築いてこられた歴史と伝統を継承しつつ、会員一丸となって精一杯活動してゆきます。今後とも皆

様の暖かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平素より(社)三原青年会議所に対しまして、多方面にわたりご支援とご協力を賜りますことを心より厚く御礼申し上げます。この度、2009年度の(社)三原青年会議所理事及び役員が決定いたしましたので、ここに紹介並びにご報告をさせていただきます。

(社)三原青年会議所は、1962年の設立以来「明るい豊かなまちづくり」を基本理念に様々な活動を展開し、常に大きな視点と長期的展望を持って市民の皆様と共に歩み、おかげをもちまして昨年は45周年という節目を迎えることが出来ました。この事は、私たち青年会議所メンバーにとって大きな誇りであり財産でもあります。そのような中、今後も地域再編が進み 都市間競争はさらに厳しくなってくるものとおもわれ、我がまち三原も例外ではなく、少子高齢化、環境問題、雇用の確保、年金問題、自主財源の確保など、様々な

2009年度 理事・役員名簿		
役職	名前	勤務先
理事長	盛影 誠司	盛影塗装㈱
直前理事長	住田 誠	㈱スマダ
特別理事	兼綱 猛晴	㈱カネツナ
	原 邦高	㈱原アルミ建材
副理事長	井上 尚彦	山陽建設㈱
	講崎 健一	朝日要素・リペアーズ
	坂井 隆伸	広陽フッソ産業㈱
専務理事	作田 佳史	㈱みどり商会
理事	荻路 新吾	㈱オギロパン
	倉橋 英治	㈱倉橋匠栄堂
	富田 伸博	㈱クリエイティブ・ライフ
	花田 章浩	㈱花田商店
	藤井 俊孝	BridgE
監事	村上 睦宏	M・STUDIO㈱
	木田 多泰	和食処 登喜将
セクレタリー	松葉 弘	㈱ジュエリーサロンまつば
	竹本 明弘	竹本自動車
	寺迫 貴直	㈱寺迫組

8月例会開催

あくなき向上心 ~常に集中して前向きな精神力を持ち続けよう~



(社)三原青年会議所 組織力向上委員会(森川朋和委員長)は去る8月19日三原国際ホテルにおいてPL学園高等学校野球部が甲子園で優勝したときのメンバーで、現在、西小学校ファイヤーズ少年野球部の監督である高橋吉宏氏を講師としてお招きし「あくなき向上

心~常に集中して前向きな精神力を持ち続けよう~」と題し8月例会を開催しました。

例会では、4月例会で学んだ新たな行動をすることで更に向上心を高めるということを踏まて、積極的な青年会議所活動をしてゆくためには、高まった向上心を継続させてゆくことが必要だという考えのもと、少年時代の体験談をもとに物事を好きになるきっかけ、高校時代のエピソードで、目標を持ちどんなにつらいことでも努力すれば乗り越えることで自分の進んでゆく道を見出すことができること、そして駒澤大学時代の話の中から、生涯の目標となる人物を見出すことの大切さ、そして最後に相手を思いやる気持ちの大切さを教わりました。

何ごとにも向上心を持って継続してゆけば必ず道は開けるといったことを青年会議所活動に置き換え、メンバーがそれぞれ前向きな姿勢を維持して普段の生活や、今後のJC活動に取り組んでゆくための一助となる例会となりました。



10月号予告

●地域と行政の協働のまちづくり 市長に提言!



やさもっさ伝言板

ちょっと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中!!
「元氣な三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください

モニター募集

(社)三原青年会議所では「やさもっさ」に対するご意見をいただけるモニターを募集しています。
よりよい紙面をつくるために皆様の声をお聞かせください。

★紙面へのご意見、感想募集
毎月1回簡単なアンケートにご協力お願いします。

★詳しくはお問い合わせください

やさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	30日	10/1日	2日	3日	4日	5日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL:(0848) 63-3515 / FAX:62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページから
メールマガジンが登録できます

三原青年会議所 検索

発行元 (社)三原青年会議所



←
携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

編集 広報委員会

2008年度理事長 住田 誠が 今年の意気込みを語る!



挑戦

三原を元気にする「まちづくり」へ

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。2008年の年頭にあたり、この一年が皆様方にとって最良の年でありますよう心からお祈り申し上げます。また、旧年中は社団法人三原青年会議所に対し暖かいご支援とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

「モノ」ではなく、「人」によって、このまちを元気にしなければならない!

我が国の景気は、2002年を底として長い停滞をようやく抜け出し、息の長い回復が続いているといわれています。しかしながら、人口減少や地域間不均衡、国・地方の厳しい財政状況など、まだまだ多くの課題も抱えています。このような社会背景も影響しているのか、私達の地域において、まちに元気がないという声が多方面から聞こえてきます。まちを元気にするために必要なものは、整備された交通基盤、商業施設、企業などの「モノ」ではなく、このまちを少しでも良くしてゆこうとする意欲のある「人」だと思えます。その意欲は、まちの課題に対する問題意識を持つことや、その解決方法を考えることのように、関わろうとする

意識から生まれてくるものと考えます。私達は、それぞれの地域がそのような環境になることを目指して様々な仕掛け、事業を実施してゆこうと考えています。哲学者のフランシス・ベーコンは「青年たちは判断するよりも発明すること、評議するよりも実行すること、決まった仕事をするよりも新しい企てに適している」という言葉を残しています。今こそ我々青年会議所メンバーが、大胆な発想で考え、勇気を持って行動し、斬新なまちづくりに挑まなければなりません。私達は挑戦します。三原を元気にする「まちづくり」へ。

「協働のまちづくり」の実現に向けて

2005年に発表した私達のまちづくり構想では、市民、行政及び各種団体などがそれぞれの特徴や機能を活かして、協働でこのまちを作る仕組みが必要であると提唱しています。三原市においても、昨年には協働のまちづくり指針を策定し、私達が考えていた先述の構想は、実現に近づきつつあります。しかしながら、現在市民も行政も、協力して地域の課題を解決する意識が高いとはいえないと思います。このような状況だからこそ、少しでも多くの市民がまちづくりの楽しさを体験できるように、我々がリーダーシップを発揮して、さらに協働の理念によるまちづくりを推進してまいります。

地域の教育力が充実した社会に向けて

私たちの地域は自主防災組織や子ども達の見守り活動など、多様な組織と人が助け合って社会を構成しています。しかしながら家庭や学校を含むその地域の教育環境は決して良い状態であるとはいえないと思います。地域の子どもは地域の宝です。現状よりも地域が学校の運営に関ることができる仕組みの提案など、地域の教育環境を改善する活動を積極的に展開してゆきます。

青年会議所が発展してゆくために

このまちが明るく豊かに発展することを目指して活動する地域の青年が一人でも多くなることは、三原が元気になることに繋がります。つまり、私達の同志を迎え入れる会員拡大は、まちづくり運動そのものであると考え、本年度も積極的に会員を拡大してゆきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、社団法人三原青年会議所第47代理事長として精一杯努力して参る所存ですので、本年も皆様方の暖かいご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。併せて本紙「やっさもっさ」のなお一層のご愛読をお願い申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

またかきいたか

◆新年を迎えて必ず食べるものといえば、お雑煮である。お雑煮の歴史は古く、室町時代から「歳神」(正月の神様)へのお供え物である餅や地域の産物を神と共にいただくための、儀礼的な料理だったといわれている。お雑煮はだしの取

り方や具の種類まで地域性が豊かで、まさにその地域の文化そのものが反映されているのではないだろうか◆文部科学省が小中学校で実施している学校給食の主要目的を、従来の「栄養改善」から「食育」に転換する方針が決まった。給食を通じて、食材の生産者や生産過程、流通や食文化などを学び、さらに地元

で使われている食材を給食に活用し、生産者との交流や体験を通じて感謝の念や郷土への愛着を育むらしい◆現在、三原市では「協働のまちづくり指針」策定に向けて議論が重ねられていると聞けが、まだまだ一般市民のまちづくりに対しての意識は低いと感じる。こういった施策に積極的に参加するような、

まちに関心(愛着)を持っている人が増えることによって三原市の将来像も変わってゆくのではないだろうか。そのためにも、子ども達には、「食育」を通じて三原の良さを認識してもらおうと共に、お雑煮のような独自の食文化にも触れてゆくことで三原に愛着のある大人に育ってほしいものだ。

〈ご挨拶〉

第33回
三原やっさ祭り
実行委員長

佐藤 協二



新年あけましておめでとうございます。
昨年の第32回三原やっさ祭りが皆様のおかげをもちまして、大きな事故も無く無事終えたことを改めて感謝申し上げます。
このやっさ祭りも本年度で33回目になり、市民総参加の一大祭典として発展を遂げてきています。しかし三原市合併から3年が経ちますが、未だ旧三原市内以外の参加チームが少なく本当の三原市最大の祭りにはなっていないよう

に感じます。また、私自身が子どもの頃に参加していた、やっさ踊りと比べると小学校、子ども会、町内会の参加チーム数がかなり少なくなっているように感じます。

そこで、第33回三原やっさ祭りでは、元気な三原を目指し、三原市最大の祭りと感じていただく為、各地域(旧1市3町)から踊りチームを出していただき、一体感を实感し、踊り手、観客が共鳴し感動できる祭りを目指したいと思えます。また、10年、20年、いや30年先に三原やっさ祭りが全国、全世界に発展してゆく祭りにする為にも、三原市の伝統あるやっさ踊りを三原市内の子どもたちに伝え、将来のやっさ踊りを担っていく多くの子どもたちが参加しやすい環境づくりに全力を注いでゆきます。

最後になりましたが、第33回三原やっさ祭り実行委員長として、この祭りが元気な三原を目指し、更なる三原のイメージアップと伝統文化のやっさ踊りの継承を図ってゆくと共に、市民・企業・行政で行なう協働のまちづくりの一助となるよう努力してまいります。

皆様の暖かいご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

2月号予告

- ・ 理事長・教育長対談
全小学校が参加するやっさ踊りを目指せ!
- ・ 地域の教育力先進都市を目指してvol.1
新たな教育環境実現への挑戦

※内容は変更になる場合があります。

会員募集

我々は私たちのまち三原が「明るい豊かなまち」となるための時代の変化に即した活動をしており、また異業種交流を通じての新たな出会いの場として生涯の友に出会える場でもあります。あなたも一緒に参加してみませんか?決して無駄にはさせません!共に頑張りましょう。

入会資格…年齢20歳～35歳(原則として)性別不問
三原市及び近隣町村に在住、または勤務されている方

★詳しくはお問い合わせください



カレーライス会(市長との懇談会)

昨年12月31日に7名の卒業生を無事送り出すことができました。

(写真奥左から)

生駒 明宣
フォレストセレモ新栄
H14年入会

今井 督和
㈱ワイスコーポレーション
H14年入会

本田 光一郎
㈱本田石材工業
H8年入会

平野 裕輔
㈱お茶の平野園
H9年入会



(写真手前左から)

松尾 清治
㈱山陽高速印刷
H14年入会

渡辺 敏
㈱渡辺商会
H9年入会

田尾 敏範
共立電機産業(株)
H5年入会

2008年度(社)三原青年会議所組織構成



理事長 住田 誠
直前理事長 渡辺 敏
副理事長 兼綱 猛晴
亀田 尚史
木田 多泰
原 邦高
専務理事 小林 正典



組織力向上委員会
委員長 森川 朋和
副委員長 倉橋 英治
委員 勝原 清志
古本 幸久
松葉 弘
盛影 誠司



地域の教育力向上委員会
委員長 花田 章浩
副委員長 蛭原 美子
委員 井上 尚彦
菊川 美仁
講崎 健一
作田 佳史
藤井 健司
夜船 孝拓



元気な三原推進委員会
委員長 矢崎 昌樹
副委員長 阪井健太郎
委員 川村 竹治
坂井 隆伸
桜井 靖光
田阪 聡
檜山 泰三
藤井 俊孝



広報委員会
委員長 三好 慎一
副委員長 荻路 新吾
委員 佐藤 協二
富田 伸博
村上 睦宏
守岡 輝幸

折込紙及び紙面サイズ変更のお知らせ

本年度より充実した内容で「やっさもっさ」の発行を行ってゆくため紙面サイズ・配布方法を変更いたします。これからは皆様に愛される「やっさもっさ」を発行してゆきたいと考えておりますので、何とぞ御了承お願いいたします。

折込紙
中国新聞・読売新聞
紙面サイズ
タブロイド版4面

(社)三原青年会議所 ホームページ リニューアルのお知らせ

(社)三原青年会議所の活動やまちづくりに関する情報をより分かりやすく発信するためにホームページをリニューアルしました。それに伴いホームページの更新をお知らせするメールマガジンの発行も行っております。

ホームページから登録できますので、皆様のご登録をお待ちしています。詳しくはホームページをご覧ください。

HP: <http://www.mihara-jc.com>

やっさもっさ 伝言板

ちょっと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中!!
「元気な三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください

モニター募集

(社)三原青年会議所では「やっさもっさ」に対するご意見を頂けるモニターを募集しています。よりよい紙面をつくるために皆様の声をお聞かせください。
★紙面へのご意見、感想募集
モニター方法 簡単なアンケート
モニター期間 2008年1月号～11月号(毎月1回)
★詳しくはお問い合わせください

やっさもっさTV

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	1/15日	16日	17日	18日	19日	20日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP <http://mihara-jc.com>



← 携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

三原青年会議所

検索

■発行元 (社)三原青年会議所

■編集 広報委員会

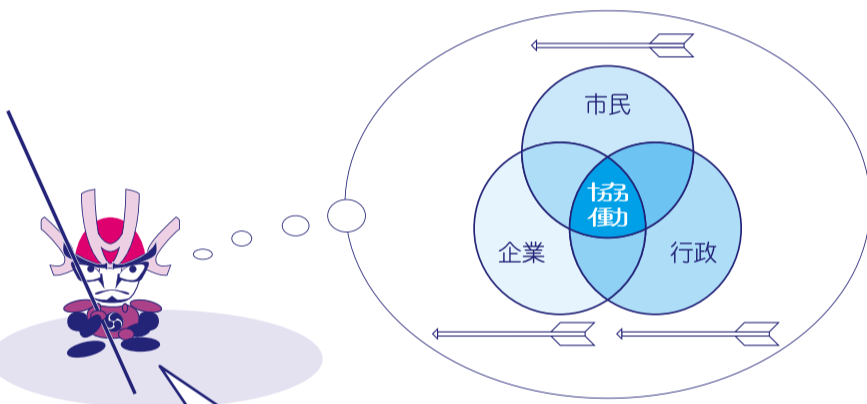
「身近な市役所」を三原市に提案!

地域と行政の協働のまちづくり

本年度(社)三原青年会議所 元気な三原推進委員会では、各地域で解決できる問題は地域の力で、そうでない問題は行政と一緒に解決してゆく流れを明確にするために、相談役として、また行政とのパイプ役として学校区毎に行政職員に在駐していただくことが良いと考え「地域と行政の協働のまちづくり」について調査研究し、提案書を作成し、11月4日に市長に提案いたしました。この提案書を利用して頂くことで、市民・行政ともに、各地域に積極的に関わってゆき、三原市全体が元気になって欲しいと考えています。提案は以下の通りです。



1. 市民・企業・行政が一体となってまちづくりを行う事が重要です!!



簡単に言うとみんなで協力しようということかな・・・
何となくわかるけど・・・
どうやって協働したらいいのかな～
地域をまとめてくれるひとがいるといいな～

私達(社)三原青年会議所は、「身近な市役所」というシステムを考えました。

身近な市役所では、各小学校区毎の公民館・コミュニティセンターに行政職員に常駐をして頂き、今までの生涯学習はもちろん、まちづくり活動をおこなっていただきたいと考えています。

そこで行政職員の方に、仕事として積極的に地域のまちづくりに関わっていただく事で、広域となった三原市の多様化したニーズに答えていただけると考えます。

2. 「身近な市役所」を提案!



市民

- ・公道の草がのびすぎて、通行の邪魔になる
- ・公道の路面状態が悪い
- ・街灯が少なく道が暗い
- ・通学路の安全を確保してほしい
- ・通院、買い物などで出かける為の交通手段が少ない
- ・不法投棄などのゴミ問題で悩んでいる
- ・地域に対する活動をしたいが、予算等を何処にお願いして良いかわからない
- ・市政に対して意見を述べたい
- ・他の身近な問題

公民館職員に相談

市民で解決できる問題は
公民館職員と一緒に
解決してゆく

市民の意見をより多く
吸い上げる

問題の判断を行う



公民館職員

市民だけで解決できない問題は
担当課へ相談

市民の意見をまとめ集約し
市政に活かす

三原市役所

2面につづく

みたかきいたか

去る10月24日ペアシティ三原東館跡地のあり方について「三原市駅前活性化検討会議」が要望書をライフコート社に提出した。しかしながら、現状では建築資材費の高騰などの理由により早期着工は困難であるらしい。駅前

遠くから三原に来られる方々が最初に目にする場所であり、いわゆる三原の顔が駅前であるといっても過言ではないと思う。だからこそ駅前に賑わいを取り戻すことは急務の問題ではないだろうか◆しかしながら、ふと考えることがある。本当に跡地に商業施設やアミューズメント施設、マンションなど

が出来ただけで賑わいを取り戻せるのかと。どこにでもあるような施設では結局同じ事を繰り返すことにはならないかと◆駅前であるからこそ他とは違う、ハードの整備よりも心の部分、三原のアイデンティティがあって欲しいと思う。三原にしかない物があってこそ多くの人が魅力を感じ集まってくるのではな

いだろうか◆今回の問題に関しては、一企業が管理している土地であり、行政や市民の考えが反映できるかといえれば難しい面も多々あるのは十分承知してはいるが、一部にでも取り入れることが出来るように市民全体の問題として、これからも考えてゆく必要があるのではないだろうか

郷土愛と一体感を育むための やっさ祭りを目指して!



本年度(社)三原青年会議所新聞「やっさもっさ」を通じて、郷土愛と一体感を育むため「全ての子どもたちのやっさ祭り出場」を訴えてきました。この活動は本年度だけで終わるものではありませんし、終わらせてはいけません。すべての子どもたちがやっさ祭りに出場するには、市民の皆様、地域の皆様の協力が必要となってきます。そこで、今年1年の状況を踏まえて今後実現させる為には、どのような問題点を解決しなければいけないかについて提案をさせていただきます。

やっさ祭り実行委員会

課題1: 子どもやっさを継続的に行なう部門が無いので、窓口、担当が明確であって欲しい。
対策案: 子どもやっさで出場するためには、子どもやっさ部門担当を立ち上げ、通年にわたり継続的に子どもやっさチームのフォローの出来る窓口を作る。

学校

課題2: 各学校のやっさ踊りの取り組みにばらつきがあり、三原市の伝統文化とゆう意識が低い。
対策案: 学校カリキュラムの中に、三原の歴史を知るためにも『やっさ踊り』の歴史を知り、踊りの練習を取り入れ、郷土愛と学校地域内の意識向上を図る。

行政

課題3: 地域、学校に踊りの指導者がいない。また、子どもたちが安全に祭りに出場するための交通手段が少ない。
対策案: 三原市から、練習のため、やっさ踊り振興協議会より講師派遣を行なう。祭り当日のチャーターバスの予算を三原市で準備していただく。

PTA・地域

課題4: 学校主導でのやっさ踊り出場は難しい。
対策案: やっさ踊り出場準備は学校、PTA、地域が協力しないと出来ないので、各学校にやっさ祭り出場実行委員会の設立を行ない、継続的に運営を行なう。

今年子どもやっさ部門を見させていただきましたが、子どもたちの表情は『笑顔!!悔しさ!!感動!!』でした。三原市最大の祭り『やっさ祭り』に三原の全ての子どもたちが参加し踊っている状態を想像してみてください。その10年、20年後には、明るい三原の未来像があると思いませんか??



「郷土愛」と「一体感」育んでゆくためにはどうしてゆけばよいか考えてきました。その方法の一つだけではないと思います。その中で、私たちが今年提案してきた「やっさ踊り」というツールは「郷土愛」と「一体感」を育んでゆくための非常に有効な手段の一つではないでしょうか。三原で育った子どもたちが三原に誇りを持つ。それが元気な三原につながってゆくのではないのでしょうか。今こそ「郷土愛と一体感を育む」ために三原市全体で全ての子どもたちのやっさ祭り出場に向けての第一歩を踏み出しましょう。

編集後記

本号(11月号)で、2008年度の「やっさもっさ」は最終号を迎えることとなりました。本年度は主に、

- 地域の教育力を向上させてゆくためにコミュニティ・スクール導入を目指した活動「地域の教育力先進都市を目指して」
- 地域と行政が協働でまちづくりを行なってゆくためのシステム「身近な市役所」
- 子どもたちの三原という地域に対する愛着を育てゆくことの必要性を理解していただくため「郷土愛と一体感を育むためのやっさ踊り」

という3つのテーマを掲載してまいりました。本誌を通じて少しでも多くの方に、自分たちの住むまちについて考えていただきたいと願い、本年度の活動を広報してまいりました。本誌を発行するにあたりまして、協賛企業の皆様、モニターの皆様、そして私たちの取材に快く応じてくださった皆様には深く感謝いたします。今後とも本誌を通じて(社)三原青年会議所の活動に対しご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。



2008年度(社)三原青年会議所 広報委員会

広報委員長 三好 慎一
副委員長 荻路 新吾
委員 佐藤 協二 富田 伸博
新田 圭司 村上 睦宏
守岡 輝幸
副理事長 木田 多泰

やっさもっさ 伝言板

ちょっと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中!!
「元気な三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください

モニター募集

(社)三原青年会議所では「やっさもっさ」に対するご意見をいただけるモニターを募集しています
よりよい紙面をつくるために皆様の声をお聞かせください
★紙面へのご意見、感想募集
毎月1回簡単なアンケートにご協力お願いします
★詳しくはお問い合わせください

やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	12/2日	3日	4日	5日	6日	7日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL : (0848) 63-3515 / FAX : 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページから
メールマガジンが登録できます



携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所

検索

発行元 (社)三原青年会議所

編集 広報委員会